

**一般社団法人バイオビジネス創出研究会
2017年度事業報告**

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

滋賀県長浜市田村町 1281-8
長浜バイオインキュベーションセンター
TEL：0749-65-8808

29 年度 ABBC 経営・運営概況報告

会費事業は、会費を主たる収入源として運営しており、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）と連携して、バイオビジネスにかかる情報提供、セミナー開催・マッチング事業への参加呼びかけのみならず会員個別の創業・事業化の相談・支援にも応じている。

指定管理事業は、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の指定管理者としての3期目（28年度から5年間）の2年度（通算12年）となり、入居料・指定管理料を主たる収入源として、長浜市と締結したセンターの管理に関する協定書に基づいて、入居企業の支援を柱とした管理運営にかかる多くの事業業務を遂行している。

創業支援事業は、29年度も長浜市より新産業創出地域連携事業が委託され、併せて国の中小企業基盤整備機構からの創業支援事業者補助金も受けられたので、長浜市の政策（産業振興ビジョン・創業支援計画の具現化）と連携した創業支援事業を創業支援事業者として、商工会議所・商工会と協働で実施した。

小谷城スマートインターチェンジ（SIC）関連事業として、長浜市より SIC 周辺において農業（林業）を軸に派生するアグリビジネスの展開を行うための調査分析及びプレーヤー（担い手）の確保・育成への支援を目的としたアグリビジネス推進事業支援の委託を29年度も受け、各種の事業を展開した。さらに、28年度に引き続きコンサル的な色合いの業務として、小谷城 SIC 周辺6次産業化拠点構想策定支援業務の委託（28年10月から30年3月まで）も受けたので、金融機関のシンクタンク系と連携して業務を行った。

その他の受託事業として、NAST 事業、環境メッセへの出展事業及び滋賀県関連の SBO からの SBO サロン事業は、29年度も継続して委託され、事業を実施した。

会員事業報告

長浜バイオ大学の誘致を契機に地域企業が核となって設立された当会は「滋賀の地に産官学連携によるバイオクラスターを形成」というビジョンを掲げた。長浜サイエンスパークには、長浜バイオ大学、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）がコア施設として立地され、バイオ関連6社の企業も進出している。当会が平成18年度より長浜市の指定管理者として運営するNBICも延べ37社の事業支援をおこなってきており、長浜の地に産官学連携によるバイオクラスターが小さいながらも形成され、ビジョンの具現化が図れてきた。

会員（企業・個人）に対しては、バイオビジネスを学んでいただき、第2創業や事業開発をされるための情報提供や支援を行ってきた。また、長浜市の産業振興施策の一環として事業支援室がNBIC内に設けられ、地域事業化プロデューサーも配置されており会員にも利用を呼びかけてきた。

平成29年度の会員数は88社名（企業19社、個人会員12名、その他57）である。

29年度も総会で承認された事業計画に基づき会員事業として情報提供事業、研修会・講習会の開催事業、創業・事業化支援事業、マッチング機会創出事業を行った。具体的には12ページ～31ページにて報告するすべての事業についても、会員へ呼びかけを行っている。会員に対しては主催、共催事業、クラスターネットワーク事業、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）事業、IMネットワーク事業の案内や情報を提供している。企業会員は29年度もSBO会員に登録されており、SBOからも情報提供がなされている。企業会員、個人会員への事業支援・相談窓口としてはシニアマネージャー（S-IM）とインキュベーションマネージャー（IM）が担当し業務を行った。

また、地域において、第2創業に挑戦する企業を育てるために300年経営塾が代表・顧問理事の主宰で2ヶ月に一度開催されており、NBICのPRを兼ね、本会も入会し事務局を受け持っている。さらに、29年度から藤田義嗣副代表理事が会長を務められ、若林浩文理事が副会長を務められている『デジタルイノベーション研究会』の事務局も受け持っている。本研究会では、AIやビッグデータ、IoTといった今後のキーテクノロジーとなるテーマを取り上げ、セミナーや勉強会を開催していく予定である。

バイオビジネス創出研究会 平成29年度 会員数推移

種別	期首	増	減	期末
企業	21	0	2	19
個人	11	1	0	12
アカデミック	44	0	17	27
学生	0	0	0	0
賛助	23	0	3	20
BI特別	10	1	1	10
合計	109	2	23	88

指定管理業務報告

◆29年度入居状況

29年度の入居状況について、4月当初は17室中12室入居からスタートした。7月からジーワン株式会社が1室増室されたが、9月末までにかからだ元気治療院が卒業された。12月からは新たに株式会社プロクルーが2室入居され、2月末にジーワン株式会社が1室を返還された。(入居企業推移については10ページ参照) 通年で12.8室と本年度の採算分岐点(14室)を下回ったが経費節減に努め、入居勧誘を積極的に行ってきた。2月には新たに創薬関連の企業からの入居申請があり、平成30年4月から2室入居となった。

◆センター運営事業

指定管理者としてセンター運営事業の目的は、入居企業や地域企業に対するバイオ関連分野を主とした創業・事業化支援による地域産業の活性化と雇用の創出にあり、以下の事業を行っている。

センター運営事業の柱である入居企業、相談に来られる地域企業への支援はS-IMとIMが担当し業務を行った。入居企業の課題はIM両名が把握し要望に応じて対処した。地域企業に対する第2創業、新事業化支援については、NBICの認知度も高まり相談にこられる企業も増えている。

コワーキングスペース事業支援室(openjoynt)については、創業支援事業の一環としての位置づけと共に、メインステージへの企業を創出することを目指し、空き室を利用し、29年度も引き続き設置を行った。29年度の登録者数は5者となった。

◆センター管理業務

長浜市と締結した協定書の仕様書に準拠して施設の維持管理業務や入居料の集金などの経理業務を日常行っている。加えて視察の受け入れ(11ページ資料参照)、入居者懇談会の開催、長浜サイエンスパーク(長浜バイオ大学、進出企業6社、ABBC)運営協議会事務局などの業務に箕浦IM(OM兼務)、2名の職員(OM補佐)が対応している。

◆センター運営体制

代表理事、顧問理事、専務理事(事務局長兼務)、相談役、S-IM、IM(OM兼務)および地域事業化プロデューサー、OM補佐2名で隔週定例経営会議を開催。これを受けて専務理事(統括マネージャー兼務)の下、具体事業、具体業務を進める体制を取っており、事務局の内部協議を隔週で行っている。

長浜市とは専務理事、IMが出席して報告会議を必要に応じて開催し、S-IM、地域事業化プロデューサーの活動報告を行い、運営について指導・助言を受けている。

長浜バイオインキュベーションセンター 入居者の一覧

平成 30 年 5 月現在

部屋番号	入居者名	代表者	事業内容
1 2	株式会社フィジカル http://www.biwako.ne.jp/~physical	代表取締役 永尾 司	健康、美容商品の企画開発 顔ダニ製品の新規開発、販売
3	ツジコー株式会社 http://www.tsujiko.com/	代表取締役 辻 昭久	健康食品原料の開発
4 5	株式会社プロクルー http://e-ohmi.net/	代表取締役 松本 茂之	1次産業向けIoTやドローンを活用した生産管理システムの開発などIoTやAIを取り入れた新たなビジネスモデルの創出
6	株式会社ワンセル http://www.onecell.co.jp	代表取締役 福嶋 久	組織再生と体質改善を促す機能性分子を含む商品群の開発・製造・販売
7	長浜バイオ大学 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp	理事長 若林 浩文	長浜バイオ大学研究者による各種共同研究、受託研究
8	株式会社フロンティアファーマ http://frontierpharma.jp	代表取締役 岡 徹夫	分子標的抗がん剤の創薬、創薬・診断薬の新規基盤技術の開発
9	事業支援室		創業希望者、新規事業化支援希望者、第2創業希望者のビジネスインキュベーション室として利用。また、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス支援希望者も含む。
10	株式会社バイオセラピーメディカル http://www.btmcl.com	代表取締役社長 高瀬 仁志	難治性創傷治療用ウジ事業及び有効成分の研究事業
11			
12	ジーワン株式会社 http://www.g-1.ne.jp	代表取締役社長 森 啓悟	リップルシステム通信技術を用いた心不全及び認知症患者等の健康管理用ウェアラブル機器の開発等
13 16	株式会社膠原病研究所	代表取締役社長 塩沢 和子	膠原病の新規治療薬の研究開発:全身性エリテマトーデス(SLE)の分子標的治療薬の開発
14	株式会社山正 http://www.moxa.net/	代表取締役 押谷 小助	艾製造に伴うヨモギ残渣を活用した健康食品関連開発及び「伊吹艾」のブランド化。独自ヨモギ栽培技術の確立等。
15	ジーズアップ株式会社	代表取締役 三宅 均	染毛剤、化粧品の開発
17	株式会社明豊建設 http://www.meiho-co.co.jp	代表取締役社長 本庄 浩二	効果的なコケ緑化ビジネス形成を目指した緑化用コケの製造技術開発

研究室数の総数 17室

入居者数 11社、長浜バイオ大学、事業支援室(16室)

●平成29年4月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	
5	事業支援室
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	ジーワン株式会社
12	
13	
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	からだ元気治療院
17	株式会社明豊建設



●平成30年3月末の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	事業支援室
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	
17	株式会社明豊建設

●平成29年4月以降 入居企業

	企業名	入居日
1	ジーワン株式会社 12号室 (増室)	H29.7.1
2	株式会社プロクルー 4号室、5号室	H29.12.1

●平成29年4月以降 卒業企業

	企業名	卒業日
1	からだ元気治療院	H29.9.30
2	ジーワン株式会社 11号室 (減室)	H30.2.28

●部屋移動

	企業名	移動日
1	事業支援室 5号室 → 9号室	H29.11.1

平成29年度NBIC視察人数

	主な視察者	29年度視察者数	28年度視察者数
29年 4月		0	0
5月	北星高校	14	16
6月		0	0
7月		0	0
8月	IM実習	11	27
9月		0	0
10月	公益財団法人経済同友会 山形県河北町議会総務産業常任委員会	24	11
11月	九州大学別府病院リウマチ膠原病内科学	3	0
12月		0	0
30年 1月	大府商工会議所 株式会社JIP保険	29	0
2月		0	13
3月		0	0

合計 81 67

創業支援関連事業 報告

長浜市創業支援事業計画に基づいて、長浜ビジネスサポート協議会と協働で、地域の起業家予備軍に対して、起業意識の醸成からテストマーケティング、成長支援までの一貫した支援を実施。

1. 起業家予備軍の発掘育成

(1) 創業塾

26年度からスタートした創業塾は、29年度で4年目を迎えた。創業に必要な知識手法の習得（経営・財務・人材育成・販路開拓）の機会を実践的なワークショップ形式を中心に2クール実施した。

第7期 平成29年7月25日～10月10日開催

第8期 平成29年10月15日～12月17日開催

【受講者数】

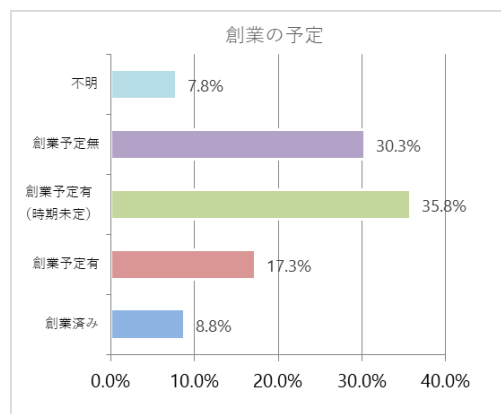
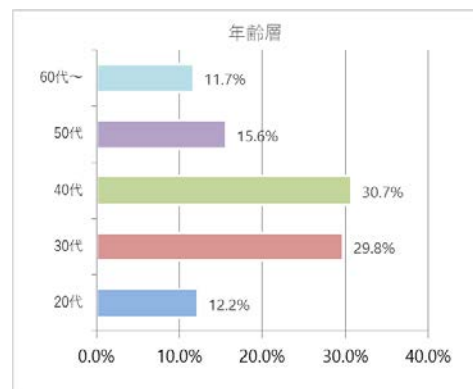
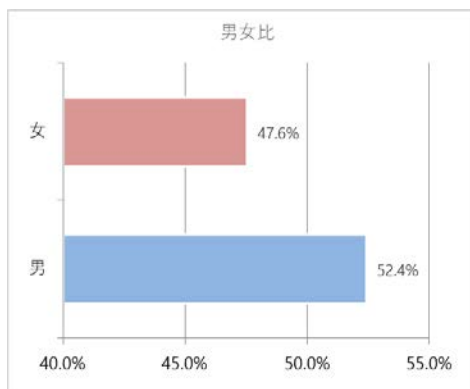
第7期：31名

第8期：17名 計 48名

第1期～第8期 合計 307名



参加者動向（第1期～第8期）



(2) 交流ワークショップ

創業塾卒業生同士及び地域企業や地域の起業家予備軍のつながり作りと連携促進などを目的として少人数の交流ワークショップ（創業塾スピノフ会）を2回開催した。

【第1回】

開催日：平成29年7月22日開催

内容：講演「地域と一緒に成長するビジネスの未来」

【講師】 岩寄博論氏（株式会社博報堂ブランド・イノベーションデザイン局 HUX 部 部長）
パネルディスカッション

【パネラー】 木田勇士氏（手づくり工房みゆう）／天盛光信氏（十割蕎麦坊主 bar 一休）
／川田真由美氏（つるや旅館）

参加者：34名

【第2回】

開催日：平成29年11月11日開催

内容：講演「経営のヒントと稼ぐ力！」 【講師】 永井俊二氏（大永コンサルティング）

パネルディスカッション

【パネラー】

佐藤硬史氏（佐藤酒造株式会社 代表取締役）／山上昭氏（株式会社一期一会 代表取締役）／
池野弘和氏（長浜信用金庫 業務本部理事・部長）／藤田勝一氏（東浅井商工会 経営支援課長）

参加者：20名



第1回



第2回

(3) 若者への地域企業等メンターサポート付きプロジェクトベースドラランニング

大学生をはじめとした若者への地域における挑戦機会の発信と継続的に接点を持つことが起業家精神を持つ若者を地域に呼び寄せる効果があるとの思いのもと、地域大学等と連携し、地域こそが学生自らの生き方や地域課題に向き合える可能性が高いことの理解を深め、起業や経営に必要な知識を学ぶワークショップ・講演会を開催した。

【1回目】

「地域・世界の視点から「生き方・働き方」を考えるワークショップ&講演会」

開催日：平成29年11月3日

内 容：第1部 LEGO® SERIOUS PLAY®メソッドと教材を活用したワークショップ
「働くこと～地域企業との協働を通して～」

講師 林永周氏（立命館大学経済学部 講師）

第2部 講演会「IT時代を生き抜くための生き方・働き方」

講師 村上憲郎氏（元 Google 米国本社副社長兼 Google Japan 代表取締役社長
／株式会社村上憲郎事務所 代表取締役）

会 場：立命館大学びわこくさつキャンパス ローム記念館

参加者：40名

【2回目】

学生向けアントレプレナー交流ワークショップ

開催日：平成29年11月29日

内 容：立命館大学の学生に向けて、長浜地区の創業支援に関する取り組み事例の紹介、
地域で創業することへの関心を高めるための研修

会 場：立命館大学 大阪いばらきキャンパス

参加者：213名



1回目



2回目

2. 起業・新事業支援

(1) 専門家による個別支援

地域事業化プロデューサーを配置しハンズオン支援を提供した。29年度は支援内容の質量拡大に対応すべく地域事業化プロデューサーと連携しハンズオン支援を行う地域事業化アソシエイトを配置し対応した。

(2) 地域資源プロジェクトマネジメント

a. アグリビジネスカフェの開催

地域資源を活用・発掘に関する事業シーズの情報提供として開催してきたアグリビジネスカフェにおいて、29年度は「地域おこしは農業から」をテーマに農業と福祉の連携事業（農福連携）に焦点を当てた内容で2回開催した。専門家からの助言支援とともに衆知を集めての課題検討やグループ形成の支援を実施した。

【1回目】

開催日：平成29年8月18日

内 容：地域おこしは農業から～人らしい生き方・終わり方ができる地域づくり

・講演

「農福連携のこれまでとこれから」

講師 濱田健司氏（(一社)JA共済総合研究所 主任研究員／全国農福連携推進協議会 会長）

国松繁樹氏（全国農福連携推進協議会 幹事）

・情報提供

「地域行政の取り組み状況」 滋賀県 農政水産部 農政課

・パネルディスカッション

パネラー 濱田健司氏／福永善吾氏（(一社)ばんば楽楽ファーム 代表理事）／

川村美津子氏（認定NPO法人つどい 理事長）／中川尚典氏（株式会社中重 代表取締役）

モデレーター 吉田道明氏（吉田農園株式会社 代表取締役）

参加者：36名

【2回目】

開催日：平成29年12月15日

内 容：地域おこしは農業から 農福の結いを咲かせよう

- ・長浜市で農福連携を進めている3名から事業および課題プレゼン
- ・ワールドカフェ形式での意見交換
- ・意見交換のまとめ、発表

参加者：18名



1回目



2回目

b. コンニャク芋栽培プロジェクト

長浜市及び県内の休耕田、耕作放棄地の再利用を含めたコンニャク芋生産基地の集積およびコンニャク芋生産県内クラスター基地を確立し、長浜市にコンニャク芋製品の生産基地を立地することを目的とした本プロジェクトは、29年度で4年目を迎え、平成29年度栽培参加者向け説明会の実施および栽培種芋（生子）の分配をおこなった。また、栽培参加者に対しては個別相談に応じている。



c. 木之本町古橋地区鶏足寺茶園再生プロジェクト

高齢・過疎化が進む長浜市木之本町古橋地区において、地域有数の観光歴史資源である「鶏足寺の紅葉」を強みとして、荒廃が進む茶園を再生し新たな地域資源として事業化することを目的としたプロジェクトの支援を実施した。



d. 青花プロジェクト

これまで草津市を中心に栽培されていた「青花」の需要の高まりに対応するため、長浜市においても試験栽培を実施した結果、良好であったため、長浜市においても本格的に栽培を開始するにあたり、青花栽培に関心のある農業者を対象に栽培説明会を実施した。



3. 販路開拓・販売支援

(1) アンテナショップ

支援対象者の商品やサービスがより速く顧客対象からの評価を得られるように、人の動きが活発なポイントでアンテナショップやブースを設けた。

29年度はイオン長浜店と東京で開催されている交通会館マルシェにアンテナショップブースを設置した。

【イオン長浜店】

開催日：平成 29 年 11 月 3 日～4 日

出店者：19 者・社



【交通会館マルシェ】

開催日：平成 29 年 12 月 16 日

出店者：2 者



(2) ホームページ

長浜で新しいことに取り組む人を紹介するホームページ「ナンドカナガハマアタラシイ」において、29年度は下記6名を取材し掲載した。

- ・藤林慶子氏（ミッチードーナツ）
- ・田中一徳氏（肉バル ITTOKU）
- ・中川茂樹氏（庭屋六花）
- ・笈太郎氏、笈茂代氏（そふあら）
- ・川村美津子氏（認定 NPO 法人つどい）
- ・町本卓也氏（MATCH Leather Works）

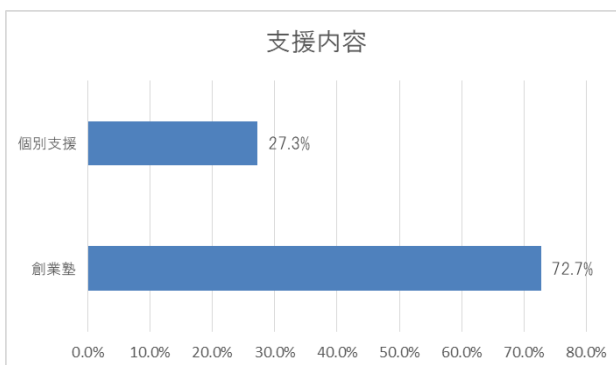
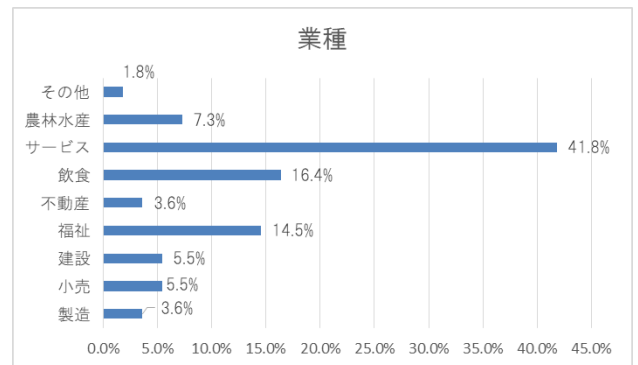
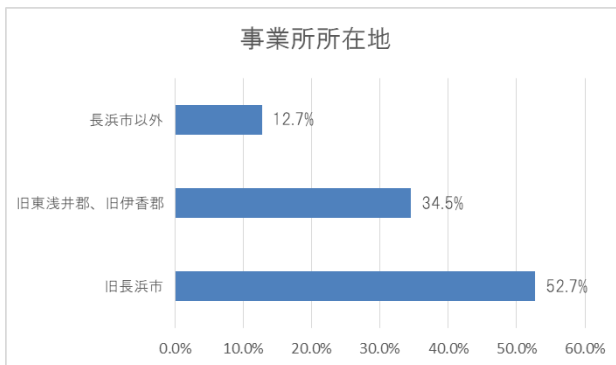
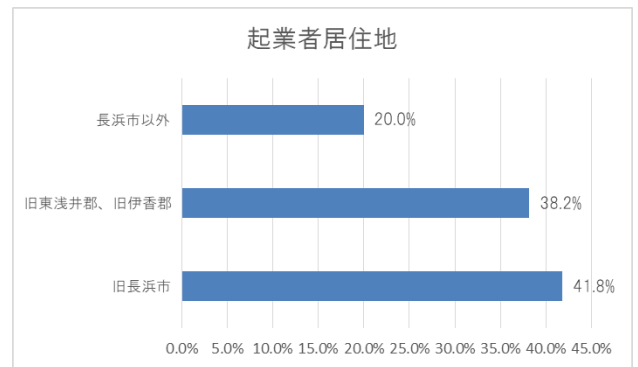
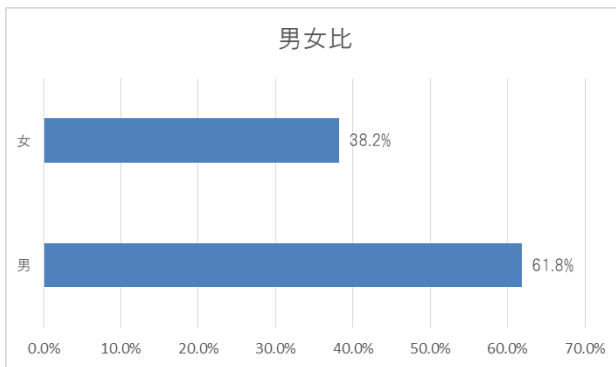


4. まとめ

(1) 起業、支援対象者件数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	合計
起業件数	11	13	16	15	55
支援対象者数	129	113	123	76	441

(2) 起業家動向



(3) 今後の課題

- 支援対象者のコミュニティ育成
- 地域金融機関を含めた実務連携の輪拡大
- 地域企業と起業・新たな挑戦をする人・若者との相互作用促進
- 長浜産業創造センター機能検討を通じた新しい異分野融合

小谷城スマート I C 関連事業 報告

1. アグリビジネス推進事業支援業務委託

平成 29 年春に開通した小谷城スマートインターチェンジ周辺において、農業（林業）を軸に派生する関連産業を含めた産業集積による地域活性化に向け、長浜市における新たなアグリビジネスに関する調査分析等を行い、プレーヤー（担い手）の確保・育成への支援を行う。

(1) 試験農場の運営と栽培技術の研究

湖北町小今地区の試験農場（1.2ha）にて、長浜アカデミックサポートチーム（NAST）等の技術支援を受け、試験栽培を実施した。

また、小今地区の試験農場については、一定の農作物作出試験を終えたため、平成 30 年度からは丁野地区で試験農場を運営する。

【小今地区 試験農場レイアウト図】



【丁野地区 試験農場レイアウト図】



【29 年度栽培品目及び栽培農業者】

	栽培品目／協力農業者等	試験項目・結果
1	こんにゃく芋／株式会社小澤農園	<ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培対応農法と資材による栽培方法の検証 結果→植え付け種芋 200 kg に対し 400 kg 収穫（肥大率 2 倍） ※雨に対応できる排水対策が別途必要
2	ヤーコン／一般社団法人ばんば楽楽ファーム	<ul style="list-style-type: none"> ・面積拡大による作業性検証 結果→畝間や植え付け時期の調整で作業性が大きく変わる。 ・加工方法と用途検証 結果→低温保存とピューレ化により糖度が大きく上昇することが判明した。
3	よもぎ／株式会社山正、株式会社 okunaga	<ul style="list-style-type: none"> ・春植え及び秋植えによる作業効率と生育状況の差異検証 結果→雑草対策を考慮すると秋植えが有効
4	近江バジル／一般社団法人近江バジル協会	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の越冬方法の検証 結果→5 度以上の環境であれば越冬可能であることが判明 ・栽培面積を 20a に拡大し、効率検証 結果→機械化による生産性向上が十分可能であることが判明 ・乾燥加工テスト 結果→前処理での裁断が必要 ・加工品のテストマーケティング 結果→乾燥葉茶、天ぷらで一定の評価が得られた
5	サツマイモ（シルクスweet）	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫後保存による糖度上昇検証 結果→通常 8 度程度であるが保存することで 16 度まで上昇 ・保存条件 結果→12 度～15 度程度、10 度以下では腐りが発生
6	あおばな	<ul style="list-style-type: none"> ・長浜での栽培適正判定 結果→収量、有効成分量ともに適正と判断 ・栽培期間と収穫方法 結果→7 月上旬で収穫完了でき、台風シーズンを回避できる可能性が高い。 ・長浜での乾燥テスト 結果→通風乾燥で水分量 12% まで乾燥可能
7	キャベツ／家倉氏・脇坂氏（JA 北びわこ TAC サポート）	<ul style="list-style-type: none"> ・水田活用によるキャベツ栽培の採算性検証 結果→天候不順等により変動要因が多く明確にならなかったが、選択肢の一つとして有効であることは判明

【小今試験農場 収穫祭】

小今試験農場において6次産業化や健康につながる農作物の栽培および栽培技術研究を実施するにあたり協力いただいた関係者の皆さんとともに、農作物の生育状況を確認し、地域の子供たちと一緒にサツマイモの掘りなど収穫祭を実施した。

開催日：平成29年10月29日

内容：生育状況の確認／芋掘り体験／試食会



【丁野試験農場 準備】

平成28年度から開始した小今地区の試験農場における農作物の作出試験を終え、平成30年度より丁野地区の試験農場にて栽培試験を実施するにあたり、試験農場の準備を実施した。



(2) 人材育成事業

【ながはまアグリベンチャースクールの開催】

担い手育成を目的とし、地域とゆかりのある企業(ヤンマーアグリイノベーション株式会社)と連携し、「ながはまアグリベンチャースクール」を実施した。

実施期間：平成29年7月28日～平成30年2月23日(計7回)

受講生：24名(うち修了者17名)

実施内容：

- 第1回 平成29年7月28日 長浜市役所
テーマ「脱サラ就農、九条ねぎで年商10億円」
講師：こと京都株式会社 代表取締役社長 山田敏之氏

- 第2回 平成29年8月25日 長浜市役所／小今試験農場（実習）
 テーマ「持続できる農業のための土作りと堆肥」
 講師：一般社団法人 SOFIX 農業推進機構 事務局長 三越清道氏

- 第3回 平成29年10月10日～11日 県外視察
 テーマ「6次産業化先進事例視察」
 10日 農事組合法人和郷園
 11日 農業ワールド（幕張メッセ）

- 第4回 平成29年10月20日 長浜市役所
 テーマ「6次化に向けた出口（市場）構築と2・3次産業との連携」
 講師：株式会社 OKB 総研 農林研究所 所長 笠井博政氏

- 第5回 平成29年10月1日 小谷城戦国まつり（実習）
 平成29年11月3日～4日 イオン長浜店（実習）
 テーマ「テスト販売」

- 第6回 平成30年2月2日 長浜市役所
 テーマ「これからの農業に欠かせない GAP の概要と実践」
 講師：一般社団法人日本生産者 GAP 協会 監事 多田誠氏

- 第7回 平成30年2月23日 長浜市役所
 テーマ「6次産業化事業計画の策定と提案」/総まとめ・農業で夢を実現する
 講師：ヤンマーアグリイノベーション株式会社 代表取締役 橋本康治氏
 株式会社 OKB 総研 農林研究所 所長 笠井博政氏



【フォーラムの開催】

長浜市農業委員会主催の未来農業経営塾にて6次産業化をテーマにしたフォーラムを連携実施した。

開催日時：平成30年3月10日 13:30～15:30

会場：高月まちづくりセンター

テーマ：「未来農業経営塾」長浜からはじまる新しい農業のきざし

講師：一般社団法人バイオビジネス創出研究会 地域事業化プロデューサー 加藤喜代重

参加人数：85名

2. 小谷城スマート IC 周辺 6 次産業化拠点構想策定支援業務

小谷城スマート IC 周辺の交流人口の増加を図り、農業経営の多角化や6次産業化を推進して、この地域を長浜の「新しい農業」を展開していくための拠点として、雇用の拡大や地域経済の活性化に繋げていく構想を策定するために、実効性のある構想の作成、具体的な事業手法、協力体制の構築などを行うとともに、地元生産者・民間企業・大学・研究機関と連携して、「持続できる農業（1次産業）」の確立に向けた検討を行う。

(1) 契約期間

平成28年10月6日～平成30年3月31日

(2) 実施内容

a. 現状分析・調査

- 小谷城スマート IC 周辺の土地利用規制や農地の利用状況の現状を調査。6次産業化拠点の整備に必要な施設を設けるために法的な課題や事業面の課題、地域の課題などを分析。国策との連動などを検討。

b. 地域周辺の現状整理

- 長浜市における農林漁業の現状の把握、特徴や優位性を見出し、今後の課題を抽出。コメ、麦、大豆を中心とした付加価値の向上策など長浜市がとるべき戦略の方向性の検討

c. 農業振興方策の検討

- 主力農産物の強化（高付加価値化など）、水田多様活用の推進による新たな収益を生む農産物の検討。休耕地を活用した産業振興方策の検討。農林漁業・観光との相乗効果を検討した連携推進。

d. 6次産業化施設等の方向性

- 拠点構想の象徴となる【中核エリア】に以下の特徴をもつゾーニング構想

➤ **【生産教育ゾーン】**

バイオ技術を生かしたサポート、アグリビジネスを担う高度人材育成、ビジネスマッチングの機会創出、産地が明確で鮮度の高い野菜を供給、高付加価値の加工品の製造を支援、生産増による生産者所得の向上

➤ **【農業体験ゾーン】**

アグリビジネス人材の活躍の場、長浜産品・サービスの認知度アップ、イメージの向上・市外ニーズ吸収、長浜の豊かな自然に触れる機会

➤ **【交流商業ゾーン】**

市内他地域との周遊性を向上、既存の観光拠点に対するニーズを発掘、長浜の産品を地域ブランド化、全国・世界へと情報発信

e. 関係者合意形成等支援

- 小谷城スマート IC6 次産業化推進部会、推進懇話会の開催運営支援

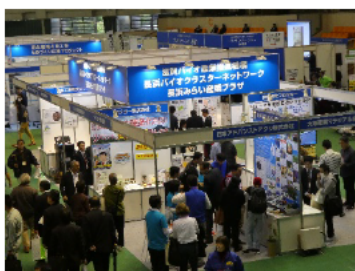
その他事業報告

1. びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブース設置によるビジネスマッチング事業

長浜市より新産業創出地域連携事業（研究開発支援・販路開拓支援）業務委託を受け、びわ湖環境ビジネスメッセ 2017 会場内で特設ブースを設置。29 年度は滋賀バイオ産業推進機構と長浜みらい産業プラザと協働で開催。10 社 2 支援機関が出展した。

(1) 出展企業一覧

出展企業	出展内容
株式会社アイティプランツ	空調制御型植物インキュベータの組立キット（ボックス型と簡易型の 2 種類）
大塚産業マテリアル株式会社	ウレタンやポリエステル繊維の粉碎品の紹介 自社で取り扱うファブリックや不織布から発生する廃材（裁断屑）を粉碎し、吸音材や補強材等に活用。製造工程などを動画を用いて展示
株式会社開伸	V パック、農材プール、ストーンコーナー
国友工業株式会社	ペレットストーブ、自然素材原料の介護用消臭剤
ツジコー株式会社	ラオスでの植物栽培から健康茶・健康食品・化粧品原料（植物の乾燥物・ファインカット・殺菌粉末・抽出）の受託事業の紹介
日本アドバンストアグリ株式会社	ラオス固有のバタフライピーの花の乾燥物、粉末を利用した琵琶湖ブルー商品の紹介
株式会社プロクルー	ドローンの利活用（撮影、土木・建築、測量、点検、農業など）の紹介／ドローン認定操縦士・安全運行管理者スクールの紹介 ドローン本体の展示／テレビモニターを使った撮影動画の放映
株式会社明豊建設	壁面デザイン緑化・エクステリア・インテリア雑貨に活用できる緑化植生を製品化した「スナゴケシート」「スナゴケ文字シート」他
山室木材工業株式会社	ヤمامロググループリサイクルシステム／バイオマス発電／水力発電
カシロ産業株式会社	ハニカム構造による樹脂製防音パネル『S A I N T』
滋賀バイオ産業推進機構	滋賀バイオ産業推進機構の案内
長浜バイオクラスターネットワーク	長浜バイオクラスターネットワーク関連紹介



(2) 結果

メッセ全体来場者数

10月18日(水)	9,800名		
10月19日(木)	12,510名		
10月20日(金)	11,960名	総合計	34,270名

来場者数・商談数一覧

出展企業	来場者数	商談数	可能性大	商談成立
株式会社アイティプランツ	115	10	5	1
大塚産業マテリアル株式会社	75	10	2	0
株式会社開伸	318	19	6	0
国友工業株式会社	60	10	3	0
ツジコー株式会社	220	5	3	0
日本アドバンストアグリ株式会社	600	8	2	0
株式会社プロクルー	155	9	4	1
株式会社明豊建設	282	14	6	0
山室木材工業株式会社	209	14	5	0
カシロ産業株式会社	190	41	30	0
滋賀バイオ産業推進機構	31	0	0	0
長浜バイオクラスターネットワーク	68	0	0	0
合計	2,323	140	66	2

昨年度の実績(10社3支援機関の出展で、来場者数1103人、商談167件、可能性大45件、商談成立6件)

2. 長浜アカデミックサポートチーム(NAST)

(1) 長浜アカデミックサポートチーム(NAST)運営委員会の開催

開催日：平成30年3月22日(木) 10:00~12:00

会場：長浜バイオ大学大会議室

- 内容：①長浜アカデミックサポートチーム(NAST)及び長浜伝承野菜推進部会(NAST部会)概要説明
②新メンバー紹介
③NAST部会活動報告
④今後の活動内容及び意見交換

⑤長浜市次年度政策等の説明

参加者：

[Redacted list of participants]

【NAST 部会メンバー】

[Redacted list of NAST subcommittee members]

(2) 長浜アカデミックサポートチーム（NAST）部会の開催

平成 29 年 3 月に開通した小谷城スマート IC において、長浜市が進める小谷城スマート IC 周辺 6 次産業化拠点構想について検討をすすめる中で、伝統野菜の推進について NAST に協力を依頼があった。そこで NAST の了承を得て、伝承野菜を具体化するために関係者を招集して NAST 部会を設置し、29 年度は 3 回の会議と 3 回の視察を実施した。

【NAST 部会 会議】

- 第 1 回会議 開催日：平成 29 年 2 月 20 日（月）
- 第 2 回会議 開催日：平成 29 年 7 月 21 日（金）
- 第 3 回会議 開催日：平成 30 年 3 月 22 日（木）

【NAST 部会 現地視察】

- 第 1 回視察 開催日：平成 29 年 3 月 7 日（火）※尾上地区、尾上菜
- 第 2 回視察 開催日：平成 29 年 8 月 4 日（金）※木之本、伊吹大根

- 第3回視察 開催日：平成29年11月13日（月）※米原、伊吹大根

【NAST 部会 メンバー組織】

長浜バイオ大学／滋賀県立大学／奈良先端科学技術大学院大学／滋賀県立長浜農業高等学校
／滋賀県調理短期大学校／一般社団法人ばんば楽楽ファーム／湖北町食事文化研究会／尾上
菜生産者（農家）／長浜市／一般社団法人バイオビジネス創出研究会

【現在の取組み状況と今後の予定】

- 平成29年度は尾上菜、伊吹大根の2種類の種と苗を地元農家の方々から頂き、実際の栽培現場の視察や地元での調理方法、栽培方法などのヒアリングを実施し、尾上菜、伊吹大根共にアブラナ科の植物であり自家不和合性のため近縁種との交雑があり系統がバラバラであること、自家消費、道の駅で一部販売されているだけで生産数が非常に少ないという問題点や、尾上菜は漬物にすることで保存食として昔から食べられていること、地域ごとに呼び名は違うが、おそらく同一の品種であることが判明した。
- 長浜バイオ大学内にてプランターによる栽培実験を開始し、尾上菜と伊吹大根に関して、発芽率や系統のばらつきなどの確認を実施した。
- 30年度アグリビジネス推進事業で使用する予定の丁野試験農場の一部を借り、ビニールハウスを設置した。長浜バイオ大学を中心にハウス内での試験栽培を予定している。



3. 滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）および ABBC が協働し、研究開発、産業化に向けた情報交換の場を提供するとともに、プロジェクト構築に向けた取り組みを支援することで、バイオ関連産業の創出・育成を図ることを目的とする。

(1) 運営会議の開催

平成29年度サロン事業の運営方針を決めるため、専門家らの有識者による運営会議を開催した。

日 時：平成29年9月28日（木）

会 場：長浜バイオインキュベーションセンター経営支援室

出席者： [Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]
[Redacted]

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

内容まとめ：

29年度はSDGsを大きなテーマにおき、持続可能な社会を実現するための様々な取り組みのひとつとして、まず身近な地域課題の解決を例に進めていくこととし、琵琶湖の水草や伝承野菜など各回でとりあげていくことになった。



(2) 滋賀バイオプロジェクト創出サロンの実施

若手研究者や企業等の情報交換を行うための場として、10～20名程度の参加規模のサロン（セミナーおよび意見交換会。必要に応じて開催する現地視察会を含む。）を開催するとともに、サロンから醸成されるプロジェクトの形成支援を実施する。

第1回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：平成29年12月18日（月）14：00～16：00

会場：長浜バイオ大学 セミナー室⑧

参加人数：29名

内容：「今なぜSDGsなのか」

講師：滋賀県総合政策部企画調整課 未来戦略係 千秋雅裕氏

「水草の短期間堆肥化法の開発および繁茂抑制に関する技術開発」

講師：株式会社日吉 技術部 顧問 近藤昭宏氏

第2回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：平成30年2月28日（水）14：00～15：30

会場：長浜バイオ大学 セミナー室①

参加人数：33名

内容：「水草バイオマスをメタン発酵と微細藻類培養・野菜栽培で循環利用：里湖循環型社会形成のための技術開発」

講師：滋賀県立大学 環境科学部 教授 伴修平氏

第3回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：平成30年3月9日（金）14：30～17：15

会場：長浜バイオ大学セミナー室①

参加人数：26名

内容：「幻の五新線を核にした奈良五條の地方創生」

講師：NPO 法人五新線再生推進会議 理事長/滋賀バイオ産業推進機構 前理事長 新名惇彦氏

「F1 大和マナ品種の育成と普及」

講師：奈良県農業研究開発センター 果樹・薬草研究センター所長（兼）薬草科長 浅尾浩史氏



平成29年度事業一覧表

1. 主催・共催・後援事業

平成29年 5月10日			
長浜市委託事業 「新産業創出地 域連携事業」	コンニャク芋栽培参加者向け説明会	1. 栽培マニュアル・植付け準備について 2 その他	小澤農園株式会 社
平成29年 5月28日			
いきいき健康フェ スティバル	いきいき健康フェスティバル2017		長浜バイオ大学 NBIC
平成29年 5月29日			
長浜市委託事業 「新産業創出地 域連携事業」	「地方創生に何が必要か！？～大学の 役割と地域資源の活用～」 ・長浜バイオ大学の軌跡とこれからの展 望～地域(企業)との関わり～ ・西吉野の山奥で実践している6次産 業化とその集客術	蔡 晃植 氏 (長浜バイオ大学 学長) 柳澤 佳孝 氏 (株式会社柳澤果樹園 代表取締役) 原田 佑嗣 氏 (株式会社就農・離農コンサルティング 代表取締役/公認会計士)	北ピワコホテル グライエ
平成29年 6月12日			
滋賀バイオ産業 推進機構 バイオ技術研究 セミナー(共催)	バイオ技術研究セミナー「最先端研 究成果の知財化と産業化」 ・未知の酵素を表舞台で活躍させる ・標的細胞ノックアウト法 TRECK の開 発とヒト疾患モデル動物の作製	浅野 泰久 氏 (富山県立大学工学部生物工学科 教授) 河野 憲二 氏 (奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 河野特任研究 プロジェクト 特任教授)	ホテルピアザびわ湖 クリスタルルーム
平成29年 7月21日			
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務 」	長浜アカデミックサポート協議会部会	長浜伝承野菜推進プロジェクト	長浜バイオ大学
平成29年 7月22日			
中小企業基盤 整備機構 「創業支援事業 者補助金」	第1回創業塾スピノフ会 【講演】 ・地域と一緒に成長するビジネスの未来 【パネルディスカッション】	【講師】 岩崎 博論 氏 (株式会社博報堂ブランド・イノベー ションデザイン局 HUX 局 部長) 【パネラー】 木田 勇士 氏 (手づくり工房みゆう) 天盛 光信 氏 (十割蕎麦坊主 bar 一休) 川田 真由美 氏 (つるや旅館)	リイネア
平成29年 7月22日			
インキュベーション 交流会	NBIC 入居企業及び地域企業、関 係者との交流会		小間蔵

平成 29 年 7 月 25 日～ 10 月 10 日			
中小企業基盤 整備機構 「創業支援事業 者補助金」	ながはま・こほく創業塾 第 7 期	平成 29 年 7 月 25 日～10 月 10 日 10 日間・全 12 授業 開催	神照まちづくり センター
平成 29 年 7 月 28 日	平成 29 年度 第 1 回ながはまアグリ ベンチャースクール 「脱サラ就農、九条ねぎで年商 10 億 円」	山田 敏之氏 (こと京都株式会社 代表取締役)	長浜市役所
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務 」			
平成 29 年 7 月 28 日	第 41 回アグリビジネス-カフェ 農をつじた人らしい生き方・終わり方 ができる地域づくり	【講師】 濱田 健司 氏 (一社)JA 共済総合研究所 主 任研究員/全国農福連携推進協 議会 会長) 滋賀県農政水産部農政課	臨湖
中小企業基盤 整備機構 「創業支援事業 者補助金」	【講演】 「農福連携のこれまでとこれから」 「地域行政の取り組み状況」	【パネラー】 濱田 健司 氏 川村 美津子 氏 (認定 NPO 法人つどい 理事長) 中川 尚典 氏 (株式会社中重 代表取締役) モデレーター 吉田 道明 氏 (吉田農園株式会社 代表取締役)	
平成 29 年 8 月 28 日	平成 29 年度第 2 回ながはまアグリ ベンチャースクール 「持続できる農業のための土づくりと 堆肥」 講義 & 実習	三越 清道 氏 (一般社団法人 SOFIX 農業推進 機構 事務局長) アディカリ デイネシュ 氏 (一般社団法人 SOFIX 農業推進 機構 技術部門長)	長浜市役所 湖北支所 小今圃場
平成 29 年 9 月 28 日			
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 運営会議		長浜バイオインキュ ベーションセンター
平成 29 年 10 月 1 日		ながはまアグリベンチャースクール受講生 ・小今圃場関係者出店 株式会社 TPF 吉田農園株式会社 百匠屋 近江バジル協会	小谷城戦国歴史 資料館
小谷城戦国祭り	小谷城戦国祭り		
平成 29 年 10 月 10 日～ 11 日	平成 29 年度第 3 回ながはまアグリ ベンチャースクール	・和郷園 ・農業ワールド	千葉県香取市 幕張メッセ
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務 」	県外研修		

平成 29 年 10 月 13 日		・掘り取り作業 ・保管準備 ・出荷の流れ ・事務処理の確認	小澤農園株式会 社
中小企業基盤整 備機構 「創業支援事業 者補助金」	こんにやく芋栽培勉強会		
平成 29 年 10 月 15 日～ 12 月 17 日		平成 29 年 10 月 15 日～12 月 17 日 10 日間・全 12 授業 開催	サンレイバー高月
中小企業基盤 整備機構 「創業支援事業 者補助金」	ながはま・こほく創業塾 第 8 期		
平成 29 年 10 月 18 日～ 20 日		≪出展≫10 社 2 団体 ・(株)アイティプランツ ・大塚産業マテリアル(株) ・(株)開伸 ・(株)カシロ産業 ・国友工業(株) ・ツジコー(株) ・日本アドバンスアグリ(株) ・(株)プロクルー ・(株)明豊建設 ・山室木材工業(株) ・滋賀バイオ産業推進機構 ・長浜バイオクラスターネットワーク	長浜バイオ大学 ドーム
長浜市委託事業 「新産業創出地 域連携事業(研 究開発支援・販 路開拓支援)」	バイオビジネスマッチング 2017 (びわ湖環境ビジネスメッセ会場内で開 催) (長浜バイオクラスターネットワークで主 催)		
平成 29 年 10 月 19 日	バイオビジネスセミナー「環境保全への グローバルな問題の解決に向けて」 「琵琶湖における外来動植物対策の 現状と課題」 「琵琶湖で猛威を振るうオオバナミズキ ンバイの生態」 「ペットボトルを分解する細菌の発見と その分解機構の解析」	中井 克樹 氏 (滋賀県琵琶湖博物館 研究部 生態系研究領域 専門学芸員) 金子 有子 氏 (東洋大学文学部英米文学科 准教授) 小田 耕平 氏 (京都工芸繊維大学 名誉教授)	長浜バイオ大学 ドーム セミナー室①
平成 29 年 10 月 20 日	平成 29 年度第 4 回ながはまアグリ ベンチャースクール 「6次化に向けた出口(市場)構築と2・ 3次産業との連携」	笠井 博政 氏 (OKB 農林研究所 所長/株式 会社土里夢ファーム 農場長)	長浜市役所
平成 29 年 10 月 29 日			
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務 」	小今圃場 収穫祭		小今圃場
平成 29 年 11 月 3 日	地域・世界の視点から「生き方・働き 方」を考えるワークショップ&講演会 「働くこと～地域企業との協働を通じて ～」 「IT 時代を生き抜くための生き方・働き 方」	林 永周 氏 (立命館大学経済学部 講師) 村上 憲郎 氏 (元 Google 米国本社副社長兼 GoogleJapan 代表取締役社長/ (株)村上憲郎事務所 代表取締役)	立命館大学 びわこ・くさつキャン パス ローム記念館
中小企業基盤 整備機構 「創業支援事業 者補助金」			

平成 29 年 11 月 3 日～4 日	アンテナショップ 「ナンドカナガハマアタラシイ in イオン長 浜店」	・そふあら ・(一社)ぼんば楽楽ファーム ・認定 NPO 法人つどい ・あぐり佐左エもん 他 14 者出店	イオン長浜店
平成 29 年 11 月 11 日	第 2 回創業塾スピノフ会 【講演】 ・経営のヒントと稼ぐ力 【パネルディスカッション】	【講師】 永井 俊二 氏 (大永コンサルティング 代表) 【パネラー】 佐藤 硬史 氏 (佐藤酒造(株) 代表取締役) 山上 昭 氏 (株式会社一期一会 代表取締役) 池野 弘和 氏 (長浜信用金庫 業務本部理事・部 長) 藤田 勝一 氏 (東浅井商工会 経営支援課長)	北ビワコホテル グラツィエ
平成 29 年 11 月 14 日	第二創業・新事業創出セミナー 「中小企業でも使える常識外れの IoT モニタリング～安い・早い・簡単～」	・黒川 龍二 氏 (旭鉄工株式会社コンサル事業部 副部長/i Smart Technologies 株式 会社 執行役員 COO)	北ビワコホテル グラツィエ
平成 29 年 11 月 15 日	青花栽培説明会	・青花事業のこれまで ・青花栽培概要 ・長浜での栽培プロジェクト	長浜バイオ大学
平成 29 年 12 月 18 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 「今なぜ SDGs なのか」 SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン 「水草の短期間堆肥化法の開発およ び繁茂抑制に関する技術開発」	・滋賀県企画調整課 ・株式会社日吉	長浜バイオ大学
平成 30 年 2 月 2 日	平成 29 年度第 6 回ながはまアグリ ベンチャースクール ・講義 「GAP 概論～農業が生き残るために 現場で必要なこと～」 ・実習 「「日本 GAP 規範」に基づく農場評 価制度」	・多田 誠 氏 (一般社団法人日本生産者 GAP 協会 監事)	長浜市役所
平成 30 年 2 月 23 日	平成 29 年度第 7 回ながはまアグリ ベンチャースクール ・講義 「6 次産業化の事例紹介」 ・実習 「6 次産業化計画の策定と提案」 ・全体講評 ・修了式	笠井 博政 氏 (OKB 農林研究所 所長/株式会 社土里夢ファーム 農場長) 橋本 康治 氏 (ヤンマーアグリノバージョン株式会 社 代表取締役社長)	長浜文化芸術会館

平成 30 年 2 月 28 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 「水草バイオマスをもタン発酵と微細藻類培養・野菜栽培で循環利用 ～里湖循環型社会形成のための技術開発～」	伴 修平 氏 (滋賀県立大学環境科学部 教授)	長浜バイオ大学
SBO 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			
平成 30 年 3 月 9 日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 「幻の五新線を核にした奈良五條の地方創生」 「F1 大和マナ品種の育成と普及」	新名 惇彦 氏 (NPO 法人五新線再生推進会議 理事長／滋賀バイオ産業推進機構 前理事長) 浅尾 浩史 氏 (奈良県農業研究開発センター果樹・薬草研究センター所長(兼)薬草科 長)	長浜バイオ大学
SBO 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			
平成 30 年 3 月 16 日	海外販路開拓セミナー「貿易の知識と実務」 「貿易基礎知識」 「事例で学ぶ貿易実務」	福永 昭弘 氏 (株式会社滋賀銀行 市場国際部) 澤 英幸 氏 (株式会社滋賀銀行 市場国際部)	神照まちづくりセンター
海外販路開拓支援事業(長浜商工会議所と共催事業)			
平成 30 年 3 月 22 日	長浜アカデミックサポート協議会 長浜アカデミックサポート協議会部会	1 年間の活動報告 意見交換	長浜バイオ大学
長浜市委託事業「新産業創出地域連携事業(研究開発支援・販路開拓支援)」			
平成 30 年 3 月 23 日	海外販路開拓セミナー「滋賀を世界へ」 「FIT ツアーガイドから見た滋賀の可能性」 「中国市場の変化 中国開店 20 年・店からネットへ」	森 聖太 氏 (悠ツアー) 手塚 貴博 氏 (平和堂(中国)有限公司日本支社)	神照まちづくりセンター
海外販路開拓支援事業(長浜商工会議所と共催事業)			

2. その他

		平成 29 年 5 月 22 日 平成 29 年 7 月 25 日 平成 29 年 9 月 29 日 平成 29 年 11 月 17 日 平成 30 年 1 月 14 日 平成 30 年 3 月 19 日	北ピワコホテル グライエ
300 年経営塾	300 年経営塾		
		平成 29 年 8 月 3 日 平成 29 年 9 月 8 日 平成 29 年 9 月 26 日 平成 29 年 11 月 10 日	コラボしが
滋賀IMネットワーク	滋賀IMネットワーク会議		
	長浜サイエンスパーク運営協議会 ・長浜バイオ大学 ・星野科学(株) ・イオンデライトアカデミー(株) ・マルホ(株) ・山岡ヤマゼン(株) ・サイアヤファーマ(株) ・マリンフード(株) ・長浜バイオインキュベーションセンター	平成 29 年 7 月 27 日 平成 29 年 12 月 21 日	長浜バイオ大学
長浜サイエンスパーク運営協議会			



一般社団法人バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8
(長浜バイオインキュベーションセンター内)
電話 0749-65-8808 FAX 0749-65-8858
URL : <http://biobiz.jp/>
E-mail : info@biobiz.jp

**一般社団法人バイオビジネス創出研究会
2018年度事業報告**

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

滋賀県長浜市田村町 1281-8
長浜バイオインキュベーションセンター
TEL：0749-65-8808

2018 年度 ABBC 経営・運営概況報告

会費事業は、会費を主たる収入源として運営しており、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）と連携して、バイオビジネスにかかる情報提供、セミナー開催・マッチング事業への参加呼びかけのみならず会員個別の創業・事業化の相談・支援にも応じており、箕浦インキュベーションマネージャー（IM）が中心に担当している。

指定管理事業は、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の指定管理者としての3期目（2016年度から5年間）の3年度（通算13年）となり、入居料・指定管理料を主たる収入源として、長浜市と締結したセンターの管理に関する協定書に基づいて、入居企業の支援を柱とした管理運営にかかる多くの事業業務を箕浦 IM が中心に遂行している。

創業支援事業は、2018年度も長浜市より新産業創出地域連携事業が委託され、併せて国の中小企業基盤整備機構からの創業支援事業者補助金も受けられたので、長浜市の政策（産業振興ビジョン・創業支援計画の具現化）と連携した創業支援事業を創業支援事業者として、商工会議所・商工会と協働で加藤地域事業化プロデューサーが中心になって行っている。また、この事業は（仮称）長浜産業創造センターのソフト事業になるものと考えている。

2018年度の小谷城スマートインターチェンジ（SIC）関連事業は、アグリビジネス推進事業支援業務を長浜市から委託を受け、「6次産業化拠点構想の具現化」に向け、人材育成事業、高付加価値農産物の実証栽培、体験型観光農園の実証、地域伝承野菜のブランド化推進事業などの業務を加藤地域事業化プロデューサー、箕浦 IM を中心に行っている。なお、2018年9月4日の台風21号でビニールハウス4棟が全壊したが、再建のかかる予算措置が早急に長浜市においてなされたため当初計画通り執行できた。

その他の受託事業として、長浜アカデミックサポートチーム（NAST）事業、環境メッセへの出展事業及び滋賀県関連のSBOからのSBOサロン事業は、2018年度も継続して委託され、箕浦 IM を中心に実施した。

会員事業報告

当会が2006年度より長浜市の指定管理者として運営するNBICは今期で3回目13年目を迎えた。センター入居企業をこれまでに延べ38社の事業支援をおこなってきており、長浜の地に産官学連携によるバイオクラスターが小さいながらも形成され、近年では入居企業と長浜バイオ大学との共同研究なども生まれており、【滋賀の地に産官学連携によるバイオクラスターを形成】というビジョンの具現化が図れてきた。

2019年3月末の会員数は、企業20社、個人会員11名、その他58社名の合計89社名である。2018年度も総会で承認された事業計画に基づき会員事業として情報提供事業、研修会・講習会の開催事業、創業・事業化支援事業、マッチング機会創出事業等幅広く実施した。下期には第二創業・新事業アタックセミナーをはじめ様々な最新トレンド情報の発信や技術紹介を行った。

また、シェアオフィス(openjoynt)をインキュベーションセンター内に設けており、IM・地域事業化プロデューサー両名の支援を柱に展開しており、会員にも利用を呼びかけている。3月末時点で利用者は4名となっている。

会員に対しては主催、共催事業、クラスターネットワーク事業、滋賀バイオ産業推進機構(SBO)事業、IMネットワーク事業の案内や情報を提供している。企業会員は2018年度もSBO会員に登録されており、SBOからも情報提供がなされている。

企業会員、個人会員への事業支援・相談窓口としてはIMおよび地域事業化プロデューサーが担当している。

また、地域において、第2創業に挑戦する企業を育てるために300年経営塾が代表・顧問理事の主宰で2ヶ月に一度開催されており、NBICのPRを兼ね、引き続き入会し事務局を受け持っている。さらに、2018年度から藤田義嗣副代表理事が会長を務められ、若林浩文理事が副会長を務められている『デジタルイノベーション研究会』の事務局も受け持たせていただき、AIやビッグデータ、IoTといった今後のキーテクノロジーとなるテーマを取り上げ、セミナーや勉強会を開催した。

バイオビジネス創出研究会 2018年度 会員数推移

種別	期首	増	減	2019年3月末現在
企業	19	1	0	20
個人	12	0	1	11
アカデミック	27	0	0	27
学生	0	0	0	0
賛助	20	0	1	19
BI特別	10	2	0	12
合計	88	3	2	89

指定管理業務報告

◆2018 年度入居状況

2018 年度の入居状況は 4 月当初は 17 室中 16 室入居（1 室はシェアオフィス）からスタートした。9 月末までに株式会社明豊建設 1 社が卒業され、10 月から株式会社宝樹が新しく入居された。2018 年度の採算分岐点は 14 室とみていたが、通年で 15 室と採算分岐点を上回る形で推移することが出来た。シェアオフィスについては、3 月末時点で 4 名の利用となった。研究室は 1 室の空き状況であり、次の新たな入居勧誘を積極的に行っている。

◆センター運営事業

指定管理者としてセンター運営事業の目的は、入居企業や地域企業に対するバイオ関連分野を主とした創業・事業化支援による地域産業の活性化と雇用の創出にあり、以下の事業を行っている。

センター運営事業の柱である入居企業、相談に来られる地域企業への支援は IM と地域事業化プロデューサーが担当している。入居企業の課題は IM が把握しており要望に応じて対処している。地域企業に対する第 2 創業、新事業化支援については、企業からの相談の他に、先進事例のセミナー開催や、勉強会の開催等を行いながらアプローチをしてきた。

シェアオフィス（openjoynt）については、メインステージ（次期入居企業候補）及び市内に新たな企業を輩出することを目指し、空き室を利用し、2018 年度も引き続き設置した。

◆センター管理業務

長浜市と締結した協定書の仕様書に準拠して施設の維持管理業務や入居料の集金などの経理業務を日常行っている。加えて入居者懇談会の開催、長浜サイエンスパーク（長浜バイオ大学、進出企業 6 社、ABBC）運営協議会事務局などの業務に箕浦 IM（OM 兼務）、2 名の職員（OM 補佐）が対応している。

◆センター運営体制

代表理事、顧問理事、専務理事（事務局長兼務）、相談役、IM(OM 兼務)および地域事業化プロデューサー、OM 補佐 2 名で隔週定例経営会議を開催。これを受けて専務理事（統括マネージャー兼務）の下、具体事業、具体業務を進める体制を取っており、事務局の内部協議を隔週で行っている。

長浜市とは専務理事、IM、地域事業化プロデューサーが出席して報告会議を必要に応じて開催し、IM、プロデューサーの活動報告を行い、運営について指導・助言を受けている。

長浜バイオインキュベーションセンター 入居者の一覧

2019年5月 現在

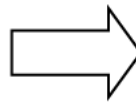
部屋番号	入居者名	代表者	事業内容
1 2	株式会社フィジカル http://www.biwako.ne.jp/~physical	代表取締役 永尾 司	健康、美容商品の企画開発 顔ダニ製品の新規開発、販売
3	ツジコー株式会社 http://www.tsujiko.com/	代表取締役 辻 昭久	健康食品原料の開発
4 5	株式会社プロクルー http://e-ohmi.net/	代表取締役 松本 茂之	1次産業向けIoTやドローンを活用した生産管理システムの開発などIoTやAIを取り入れた新たなビジネスモデルの創出
6	株式会社ワンセル http://www.onecell.co.jp	代表取締役 福嶋 久	組織再生と体質改善を促す機能性分子を含む商品群の開発・製造・販売
7	長浜バイオ大学 http://www.nagahama-i-bio.ac.jp	理事長 若林 浩文	長浜バイオ大学研究者による各種共同研究、受託研究
8	株式会社フロンティアファーマ http://frontierpharma.jp	代表取締役 岡 徹夫	分子標的抗がん剤の創薬、創薬・診断薬の新規基盤技術の開発
9	シェアオフィス openjoynt		創業希望者、新規事業化支援希望者、第2創業希望者のビジネスインキュベーション室として利用。また、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス支援希望者も含む。
10	株式会社バイオセラピーメディカル http://www.btmcl.com	代表取締役社長 高瀬 仁志	難治性創傷治療用ウジ事業及び有効成分の研究事業
11			
12	ジーワン株式会社 http://www.g-1.ne.jp	代表取締役社長 森 啓悟	リップルシステム通信技術を用いた心不全及び認知症患者等の健康管理用ウェアラブル機
13 16	株式会社膠原病研究所 http://irdbio.co.jp/	代表取締役社長 塩沢 和子	膠原病の新規治療薬の研究開発：全身性エリテマトーデス（SLE）の分子標的治療薬の開発
14	株式会社山正 http://www.moxa.net/	代表取締役 押谷 小助	艾製造に伴うヨモギ残渣を活用した健康食品関連開発及び「伊吹艾」のブランド化。独自ヨモギ栽培技術の確立等。
15	ジーズアップ株式会社 http://gs-up.co.jp/	代表取締役 三宅 均	染毛剤、化粧品の開発
17	株式会社宝樹 https://www.houjyu-world.com/	代表取締役 伊東 直隆	国際基準適合商品である水素水生成装置の開発と販売

研究室数の総数 17室

入居者数 11社、長浜バイオ大学、シェアオフィス（16室）

●2018年4月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	株式会社膠原病研究所
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	株式会社膠原病研究所
17	株式会社明豊建設



●2019年3月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	株式会社膠原病研究所
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	株式会社膠原病研究所
17	株式会社宝樹

●2018年4月以降 入居企業

	企業名	入居日
1	株式会社膠原病研究所 13号室、16号室	H30.4.1
2	株式会社宝樹	H30.10.1

●2018年4月以降 卒業企業

	企業名	卒業日
1	株式会社明豊建設	H30.9.30

長浜バイオインキュベーションセンター シェアオフィス利用者一覧

●2019年3月のシェアオフィス利用者

部屋番号	利用者名
1	村上デザイン事務所
2	リライアブル
3	
4	
5	日本コンサルティング総合研究所株式会社
6	一般社団法人スイビー

創業支援関連事業報告

長浜市創業支援事業計画に基づいて、長浜ビジネスサポート協議会と協働で、地域の起業家予備軍に対して、起業意識の醸成からテストマーケティング、成長支援までの一貫した支援を実施した。

1. 起業家予備軍の発掘育成

(1) 創業塾

2014年度からスタートした創業塾は、2018年度で5年目を迎えた。創業に必要な知識手法の習得（経営・財務・人材育成・販路開拓）の機会を実践的なワークショップ形式を中心に提供した。

【第9期】

実施期間：2018年9月12日～12月19日

場所：長浜市役所

受講者：44名



2. 起業・新事業支援

(1) 専門家による個別支援

地域事業化プロデューサーを配置しハンズオン支援を提供した。2018年度は支援内容の質量拡大に対応すべく地域事業化プロデューサーと連携しハンズオン支援を行う地域事業化アソシエイトを配置し対応した。

(2) テストマーケティング

支援対象者の商品やサービスがより速く顧客対象からの評価を得られるように、人の動きが活発なポイントでアンテナショップやブースを設けた。

2018年度はイオン長浜店と長浜駅前にオープンした長濱ええもんショップセイキン内にアンテナショップブースを設置した。

【イオン長浜店】

実施日：2018年11月3日～4日

出店者：8者・社



【長濱ええもんショップセイキン】

実施日：2018年12月1日～12月31日

出店者：6者・社



3. 若者向け起業家教育

学生を中心とした若者（創業無関心者）を対象として、地域の起業や事業活動を肌で感じることでできる「地域共創プログラム」を実施した。

実施期間：8月～12月

参加者：8名

【参加プロジェクト内容】

- ・ 鶏足寺茶園再生マーケティング
- ・ 新規アンテナショップ開設マーチャндаイズ
- ・ ネットショップ－ブログ連携
- ・ 農産物用途開発
- ・ バイオマス関連事業改善



開講式



実習様子



実習様子



成果報告会

4. 地域資源活用型起業家教育

今まで実施してきた地域資源活用発掘プロジェクトの参加者等が、各プロジェクトを事業化・組織化していくために、衆知を集めて課題の検討やグループ形成の支援、また新しい起業家を発掘する目的で交流相談会（アグリビジネス－カフェ、ワークショップ）を開催した。

（1）アグリビジネス－カフェ

【1回目】

開催日：2018年10月26日

内 容：地域おこしは農業から－農業が人を動かす－

「農業が人を動かし、地域を変えていく可能性」

講師 草野農場 草野武氏

「湖北の農に関わったこれまでとこれから」

講師 伊吹山スロービレッジ 嶋野美知子氏

「鶏足寺茶園再生から新しい力が芽吹く」

講師 株式会社ふるさと夢公社きのもと 代表取締役 岩根博之氏

参加者：24名

【2回目】

開催日：2019年3月29日

内 容：地域おこしは農業から－農業が人を動かす－

「何もない場所であったふるさとへの危機感から、

トラ男・シェアビレッジ、そして・・・3KM2のしあわせづくり」

講師 シェアビレッジ 村長／トラ男米プロデューサー 武田昌大氏

参加者：28名

(2) ワークショップ

開催日：2018年12月25日

内 容：地域資源を使って稼ぐを考えるワークショップ

参加者：9名



アグリビジネスカフェ



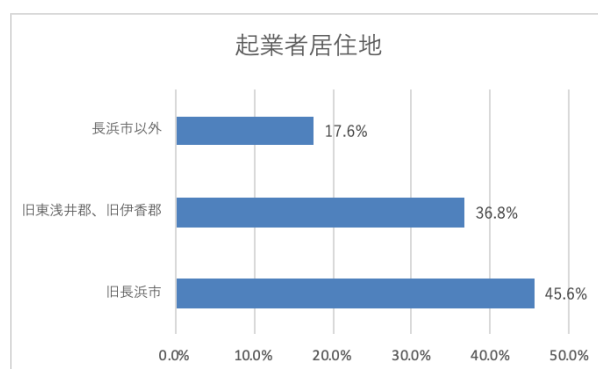
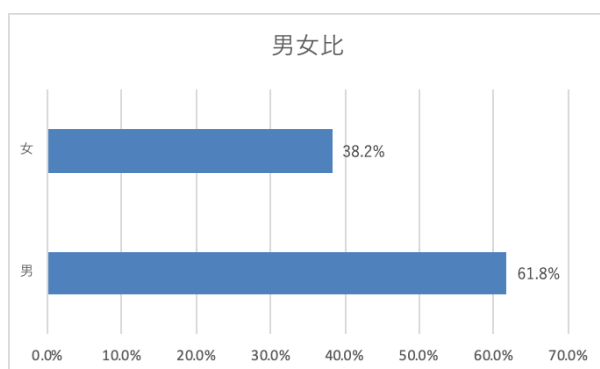
ワークショップ

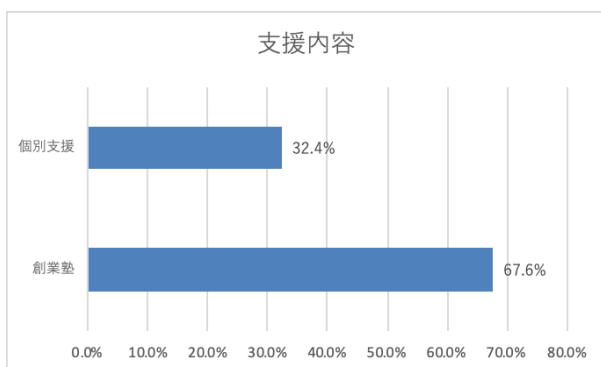
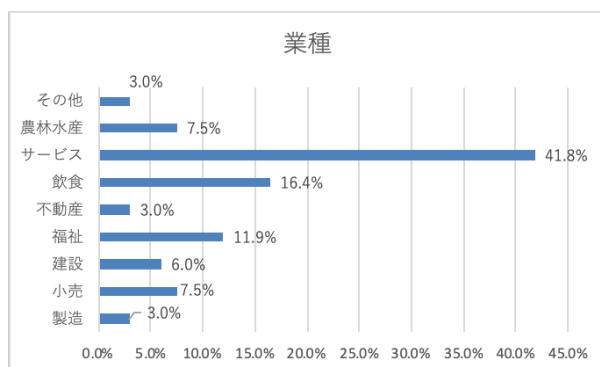
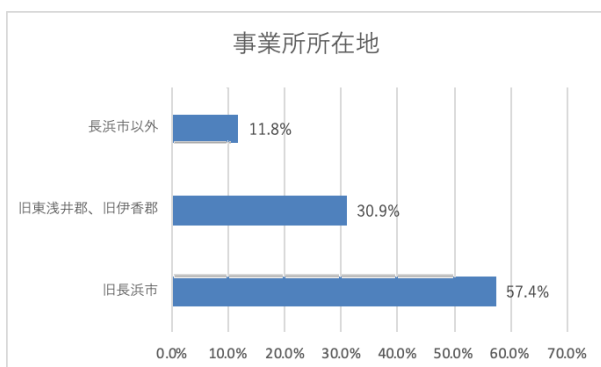
5. まとめ

(1) 起業、支援対象者件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	合計
起業件数	11	13	16	15	13	68
支援対象者数	129	113	123	76	53	494

(2) 起業家動向





(3) 今後の取り組み

一般社団法人ビジネスサポート協議会と連携し、2019年11月末開設予定の長浜産業創造センターの機能検討の準備を進める。

- 創業支援機能を発展的に取り込む
- 地域企業や広域プロジェクト、オール長浜での取り組みを応援できる体制づくり
- 次の担い手（起業家・若手）が活躍、新たな人を惹きつける魅力ある環境整備

アグリビジネス推進事業支援業務報告

1. 概要

長浜市が小谷城スマートインターチェンジ6次産業化拠点構想に基づき農業の成長産業化を目指すことを支援する。

2. 実施内容

(1) 人材育成事業

新規農業者を創出し、育成するため、ビニールハウスを使った施設型園芸（ういず One）でミニトマトによる就農実習を行う「ながはまスマート園芸チャレンジ事業」を実施した。事業に参加する実習生を募集・選考後に、丁野試験圃場に設置した実習ビニールハウスにて、JA 北びわこの営農指導の下で実習を進めた。

【実習生の募集および説明会の実施】

募集期間 : 2018年4月16日～5月31日

説明会開催日 : 2018年5月23日(水) 10:30～

説明会内容 : 「ういず One」で就農されている先輩農家の見学
実習地の見学

事業内容及び収益モデルの説明 など

結果 : 応募者4名から2名を選考



【ういず One 研修会】

開催日 : 2018年6月27日

内容 : 「ういず One」によるトマト栽培講習
「ういず One」導入農業者視察

【実習】

養液栽培装置設置作業、ミニトマト苗定植作業をはじめとする実習を JA 北びわこの営農指導のもと実施



しかしながら、9月4日の台風21号の影響により実習ビニールハウスが全壊し、実習の継続が困難となる。

その後、実習の早期再開をはかるために、倒壊したビニールハウスおよび機材を撤去し、農業用施設修繕業務により、台風対策強化仕様のビニールハウスを再建した。



全壊したビニールハウス



再建したビニールハウス

(2) 体験型観光農園の実証

丁野試験圃場の30aにて地域農業者である有限会社湖国農産の協力のもと、農園運営を行なった。

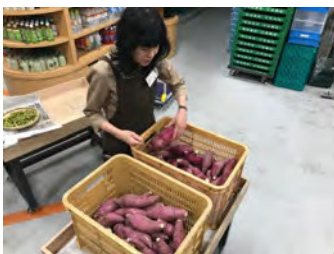
栽培作物 : さつまいも・枝豆

定植・播種 : 5月下旬～6月

栽培方法 : SOFIX 土壌分析結果をもとに栽培



しかしながら、観光農園も台風の被害を受けたことにより収益性が検証できる収量を確保することができなかったため、活動広報とマーケティングを実施した。



エキマチマルシェにてテスト販売



小谷城戦国祭りにて広報活動

(3) 高付加価値農産物の実証栽培

農業者の所得増大につながる高付加価値農産物として「あおばな」の実証栽培を地域農業者 8 者（社）の協力を得て実施し、栽培マニュアルの策定をおこなった。

【あおばなの実証栽培】

① 育苗

播種： 3 月末～4 月上旬

歩留： 80%

引渡： 4 月中旬～5 月中旬



播種直後



引渡前の苗

② 定植・生育管理

4 月末から 5 月下旬に各農業者において定植をおこない、収穫までの生育管理を実施した。
(8 農業者で合計 130a 栽培)

③ 収穫

7 月中旬から 8 月中旬にかけて各農業者生育状況にあわせ収穫した。刈払い機や手作業を中心に収穫したが、一部ヤンマーアグリジャパン株式会社の協力により野菜収穫機導入テストを実施し、良好な結果を得た。収穫数量は 20t となった。



野菜収穫機での収穫の様子

④ 今後の課題

- ・ 収穫の機械化
- ・ 長浜市内で乾燥工場の確保
- ・ 滋賀ブランドとしての認知度向上
- ・ 有効成分のバラツキを抑え上昇させる栽培方法の確立

【あおばな後作の検討】

「あおばな」の収穫が 8 月中旬に終了することから、後作として農研機構が開発した主に葉茎を食用とするさつまいも「すいおう」を試験栽培および販売をおこなった。

栽培地： びわ町圃場

面積： 1a

定植日： 8 月 6 日

収穫： 10 月中旬～11 月中旬

販売場所： 産直びわ

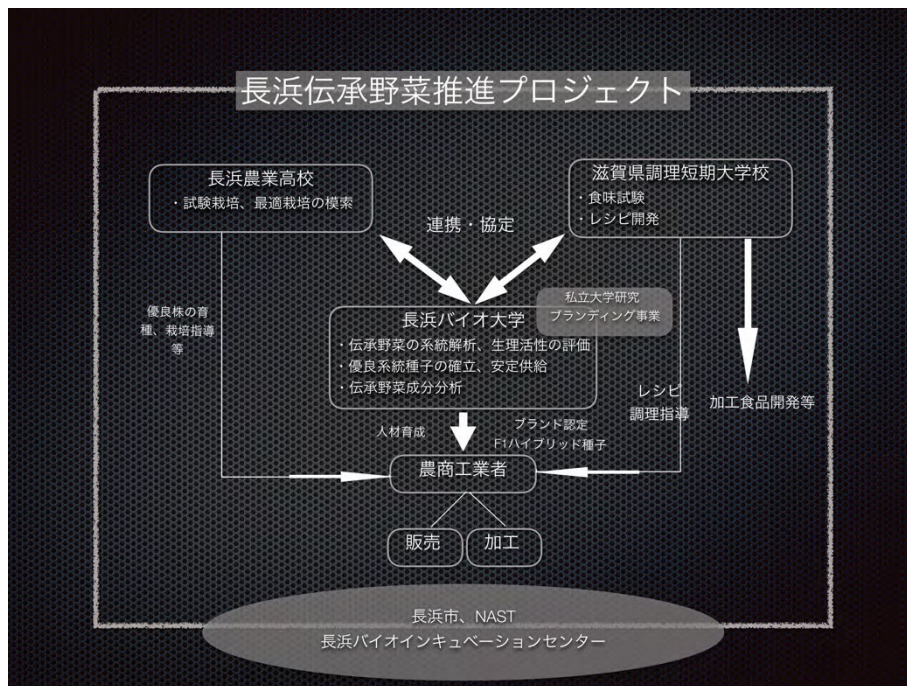


すいおう

(4) 伝承野菜のブランド化推進事業

湖北地域における伝承野菜を発掘し、ブランド化することにより、地域の新たな産業振興、特産品作り、6次産業化を目指して取り組む。

今年度は、尾上地区に伝わる伝承野菜である「尾上菜」、湖北地区に伝わる「伊吹大根」のブランディングを、長浜バイオ大学が文部科学省より採択を受け実施している「私立大学研究ブランディング事業」と連携して実施した。



プロジェクト連携の体制図

【栽培用ビニールハウスの設置】

長浜バイオ大学の学生とともに伝承野菜栽培用ビニールハウスを設置したが、台風の被害によりビニールハウスが全壊してしまったため、本格的試験栽培は 2019 年度から開始する。全壊したビニールハウスは、長浜市から農業用施設修繕業務の委託を受けて、再建した。



学生とともに設置したが、台風の被害を受けて全壊

再建したビニールハウス



再建後のハウス内で試験栽培



2019.3 月末の尾上菜



2019.3 月末の伊吹大根

【長浜農業高校による試験栽培の実施】

長浜農業高校にて、長浜バイオ大学において選抜した優良系統株の尾上菜と伊吹大根の試験栽培を開始した。栽培するだけでなく、学生たちが尾上菜の歴史を学ぶ講義や栽培した尾上菜を使った調理実習もおこなった。



京都新聞 2018.9.15



2018.9.14 播種



2018.10.5 ポッドから露地へ定植



2019.1.15 講義と調理実習



【普及啓発活動】

滋賀県立調理短期大学校の第 27 回調理展示会にて伝承野菜ブランディング事業の紹介と尾上菜の展示、「尾上菜のたたみ漬け」の試食等を実施した。



2018.11.14 第 27 回調理展示会での展示

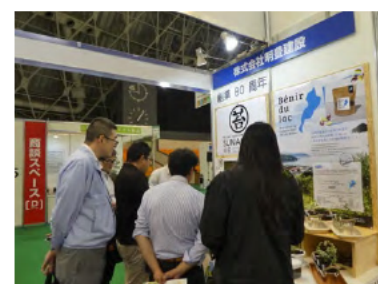
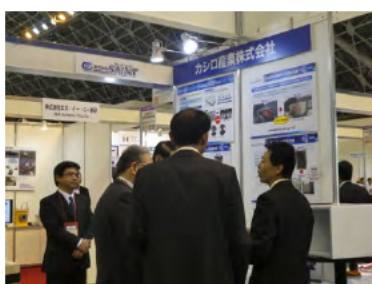
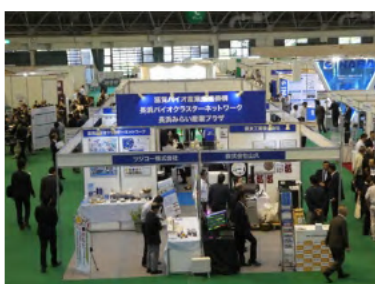
その他事業報告

1. びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブース設置によるビジネスマッチング事業

長浜市より新産業創出地域連携事業（研究開発支援・販路開拓支援）業務委託を受け、びわ湖環境ビジネスメッセ 2018 会場内で特設ブースを設置。2018 年度は滋賀バイオ産業推進機構と長浜みらい産業プラザと協働で開催。9 社 3 支援機関が出展した。

(1) 出展企業一覧

出展企業	出展内容
株式会社アイティプランツ	データロガー&インキュベータ 温度調整ボックス (ITBOX)
株式会社開伸	V パック (梱包装体)
カシロ産業株式会社	ハニカム構造による樹脂製防音パネル『S A I N T』
国友工業株式会社	木質バイオマス燃料のペレットストーブ
ツジコー株式会社	健康茶、健康食品、化粧品原料の受託事業 ラオス固有ハーブ原料
株式会社プロクルー	ドローン講習の紹介 機体の展示 活動動画紹介
株式会社明豊建設	壁面アートにも活用できる苔シート「SUNAGOKE シート」 和のグリーンインテリア「MASUMOSS-SUNAGOKE-」 発酵促進材を使用した水草等の堆肥化工法「KS 工法」 琵琶湖の水草を利用した微生物有機堆肥「Biwa-Flex」
株式会社山久	工場内の見える化「稼働管理システム」の紹介 オリジナル VR コンテンツ
株式会社山正	長浜バイオ大学との共同研究（艾製造時に出る乾燥ヨモギの残渣分析）にて認められた抗インフルエンザウィルス作用を利用した商品（石鹸、あぶらとり紙等）
滋賀バイオ産業推進機構	滋賀バイオ産業推進機構の案内
長浜バイオクラスターネットワーク	びわ湖長濱ブループロジェクトの紹介
長浜バイオインキュベーションセンター	長浜バイオインキュベーションセンター入居企業の紹介



(2) 結果

メッセ全体来場者数

10月17日(水) 7,350名
10月18日(木) 9,380名
10月19日(金) 10,520名 総合計 27,250名

来場者数・商談数一覧

出展企業	来場者数	商談数	可能性大	商談成立
株式会社アイティプランツ	32	0	0	0
株式会社開伸	190	84	0	0
カシロ産業株式会社	132	28	10	0
国友工業株式会社	75	5	3	0
ツジコー株式会社	180	5	1	0
株式会社プロクルー	137	25	9	0
株式会社明豊建設	196	13	3	0
株式会社山久	250	20	4	0
株式会社山正	150	0	0	0
滋賀バイオ産業推進機構	33	0	0	0
長浜バイオクラスターネットワーク	142	0	0	0
長浜バイオインキュベーションセンター	35	26	6	0
合計	1,552	206	36	0

昨年度の実績(10社2支援機関の出展で、来場者数2323人、商談143件、可能性大66件、商談成立2件)

2. 長浜アカデミックサポートチーム(NAST)を活用した産学等連携強化事業

(1) 長浜アカデミックサポートチーム運営委員会の開催

開催日:2019年3月27日(水) 10:00~11:30

会場:長浜バイオ大学 大会議室

内容:①NASTメンバーについて、リーダーの交代

②NAST部会活動報告

③今後の活動内容及び意見交換

参加者:

[Redacted names]

長浜市

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

(2) 長浜アカデミックサポートチーム（NAST）部会の活動

2017年3月に開通した小谷城スマートインターチェンジ（SIC）において、長浜市が進める小谷城SIC周辺6次産業化拠点構想について検討をすすめる中で、伝統野菜の推進についてNASTに協力依頼があった。そこで湖北地域における伝承野菜を発掘しブランド化することにより地域の産業振興、特産品作り、6次産業化を目指すことを目的とし、NAST部会を2017年に設置した。そして、まずは湖北地域の伝承野菜の中から「尾上菜」と「伊吹大根」のブランディング化を進めている。

2018年度は長浜バイオ大学が採択された「私立大学研究ブランディング事業」にも位置づけられて研究が進むとともに、長浜市と協働し、関係者との連携促進、試験圃場の整備、普及PRなどのコーディネート支援を実施している。

【NAST部会 メンバー組織】

長浜バイオ大学／滋賀県立大学／奈良先端科学技術大学院大学／滋賀県立長浜農業高等学校／滋賀県調理短期大学校／一般社団法人ばんば楽楽ファーム／湖北町食事文化研究会／尾上菜生産者（農家）／長浜市／一般社団法人バイオビジネス創出研究会

【取組み内容】

- 尾上菜、伊吹大根はアブラナ科の植物であり、自家不和合性の性質を持っている。また他の近縁種との交雑により遺伝子汚染されており、形質が不揃いであり均一なものができないため、長浜バイオ大学では最新研究機材等を用いて優良株系統の確立を行い、遺伝子解析などを通じて優良種苗を効率的に育種することを目指し研究が進んでいる。
- 滋賀県立長浜農業高校では、得意としている栽培分野で試験栽培を実施している。今後は、最適栽培の方法の検証なども行っていく。
- 滋賀県調理短期大学校では、伝承野菜の新たな調理方法の開発やレシピ開発、食味試験などを実施し、伝承野菜の普及啓発・PRにも取り組んでいる。

3. 滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）および ABBC が協働し、研究開発、産業化に向けた情報交換の場を提供するとともに、プロジェクト構築に向けた取り組みを支援することで、バイオ関連産業の創出・育成を図ることを目的とする。

(1) 運営会議の開催

2018 年度サロン事業の運営方針を決めるため、専門家らの有識者による運営会議を開催した。

日 時：2018 年 11 月 6 日（木）10：00 ～ 11：45

会 場：長浜バイオ大学 中会議室

出席者：



滋賀バイオ産業推進機構（SBO）

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

内容まとめ：

2018 年度は「健康」をテーマに、滋賀県内をはじめとする大学で行われている研究内容や企業の事業内容を発表いただく場としてサロンを開催することになった。また、幅広い方に参加いただけるように開催場所や広報の仕方なども考えながら、ニーズとシーズを引き出だし、新たなプロジェクトの創出を目指し取り組んでいく。



(2) 滋賀バイオプロジェクト創出サロンの実施

2018年度 第1回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：2018年12月11日（火）15：00～17：30

会場：長浜市役所3階 コミュニティルーム3-B

参加人数：58名（関係者除く）

内容：「水素がもたらす可能性とその展望－様々な分野で応用されている水素の本質を捉える－」

講師：日本医科大学 名誉教授／順天堂大学大学院 客員教授 太田成男氏
「生理学的意義から見るインターバル速歩とは－最新運動パフォーマンスとビジネスの可能性－」

講師：関西大学人間健康部・大学院人間健康研究科 教授 河端隆志氏

2018年度 第2回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：2019年2月28日（木）15：00～16：30

会場：長浜バイオ大学 大会議室

参加人数：26名（関係者除く）

内容：「運動との組み合わせにより筋肥大を引き起こすサプリメントの検討」

講師：立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授 藤田聡氏

2018年度 第3回滋賀バイオプロジェクト創出サロン

開催日時：2019年3月15日（金）15：00～16：30

会場：長浜バイオ大学 セミナー室⑧

参加人数：30名

内容：「日本式健康寿命を考える－運動・栄養処方観点から－」

講師：立命館大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授 橋本健志氏



2018年度事業一覧表

1. 主催・共催・後援事業

2018年 5月10日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	青花栽培説明会	1. 青花栽培説明 2. 育苗状況確認	ばんば楽楽ファーム
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 5月20日	いきいき健康フェスティバル	いきいき健康フェスティバル 2018		長浜バイオ大学 NBIC
いきいき健康フェスティバル				
2018年 5月23日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	ながはまスマート園芸チャレンジ事業 説明会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ういず One」で就農されている先輩農家の見学 ・実習地（小谷城スマートIC栽培実験農場）の見学 ・事業内容および収益モデルの説明 ・選考会および選考方法の説明 	長浜市役所 湖北支所
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 5月23日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	小谷城スマートIC栽培実験農場関係者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・事業説明「小谷城スマートIC栽培実験農場の取り組みについて」 ・意見交換 	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 5月30日	長浜市委託事業 「新産業創出地域連携事業」	バイオビジネス創出研究会・長浜みらい産業プラザ合同総会記念講演会 「大学と地域連携－滋賀大学の新しいすがた－」	位田 隆一 氏 (国立大学法人滋賀大学 学長)	北ビワコホテル グラツィエ
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 6月4日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	ながはまスマート園芸チャレンジ事業 実習生選考委員会	応募者数 4名	長浜市役所
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 6月27日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	ながはまスマート園芸チャレンジ事業 「ういず One」研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ういず One」によるトマト栽培講習 ・「ういず One」導入農業者視察 	北びわこ農協 浅井西支店
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 7月3日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	ながはまスマート園芸チャレンジ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・養液栽培装置設置作業 	小谷城スマートIC栽培実験農場
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				
2018年 7月10日	長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」	ながはまスマート園芸チャレンジ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマト苗定植作業 	小谷城スマートIC栽培実験農場
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」				

2018年 7月13日			
NBIC 入居者懇談会	NBIC 入居者懇談ランチ会		NBIC
2018年 8月28日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの経過と実績報告 ・今後の取り組みについて ・意見交換 	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018年 9月12日～ 12月19日	ながはま・こほく創業塾 第9期	2018年9月12日～12月19日 全15回 開催	長浜市役所
中小企業基盤整備機構 「創業支援事業者補助金」			
2018年 10月8日	小谷城戦国祭り	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者出店	小谷城戦国歴史 資料館
長浜市委託事業 「アグリビジネス推進事業支援業務」			
2018年 10月17日～ 19日	びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブ ース2018 (びわ湖環境ビジネスメッセ会場 内で開催) (長浜バイオクラスターネットワ ーク・滋賀バイオ産業推進機構・ 長浜みらい産業プラザで主催)	≪出展≫9社3団体 <ul style="list-style-type: none"> ・(株)アイティプランツ ・(株)開伸 ・(株)カシロ産業 ・国友工業(株) ・ツジコー(株) ・(株)プロクルー ・(株)明豊建設 ・(株)山久 ・(株)山正 ・滋賀バイオ産業推進機構 ・長浜バイオクラスターネットワーク ・長浜バイオインキュベーションセン ター 	長浜バイオ大学 ドーム
長浜市委託事業 「新産業創出地域連 携事業(研究開発支援 ・販路開拓支援)」			
2018年 10月17日	バイオビジネスセミナー 「琵琶湖資源の利活用に向けた新 たな展開の模索」 「内陸国ラオスの暮らしを支える 淡水魚の発酵食品」 「水生植物も活かせば資源」	丸井 淳一郎氏 (国際農林水産業研究センター 生物 資源・利用領域 主任研究員) 原田 英美子氏 (滋賀県立大学環境科学部生物資源 管理学科 准教授)	長浜バイオ大学 ドーム セミナー室①
滋賀バイオ産業推 進機構 バイオビジネスセ ミナー(後援)			
2018年 10月26日	長浜青花振り返り会	<ul style="list-style-type: none"> ・今年の結果と来年以降の展望 について ・意見交換 	長浜バイオ大学
長浜市委託事業 「アグリビジネス推 進事業支援業務」			

2018年 10月26日	第43回アグリビジネス-カフェ 「地域おこしは農業から-農業が人を動かす-」 「農業が人を動かし、地域を変えていく可能性」 「湖北の農に関わったこれまでとこれから」 「鶏足寺茶園再生から新しい力が芽吹く」	草野 武 氏 (草野農場) 嶋野 美知子 氏 (伊吹山スロービレッジ) 岩根 博之 氏 (株式会社ふるさと夢公社きのもと 代表取締役)	長浜バイオ大学
長浜市委託事業 「新産業創出地域連携事業」			
2018年 11月3日~4日	アンテナショップ 「ナダカナガハマアタラシイ in イオン長浜店」	・ Match Leather Works ・ 紡ぎ-kannongirl ・ foret ・ (一社) ばんば楽楽ファーム ・ きっちゃんきんたろう ・ あぐり佐左エもん ・ (一社) 近江バジル協会	イオン長浜店
中小企業基盤整備機構 「創業支援事業者補助金」			
2018年 11月6日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン 運営委員会	・ サロン事業について ・ これまでのサロン事業 ・ 2018年度サロン事業開催概要について ・ 講師候補について ・ その他	長浜バイオ大学
SBO 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			
2018年 11月13日	地域共創プログラム開講式	・アントレプレナーシップと地域 ・地域企業と若者のつながりの可能性 ・プログラム内容説明と現状 ・参加者自己紹介&意見交換	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
中小企業基盤整備機構 「創業支援事業者補助金」			
2018年 12月1日~31日	アンテナショップ 「ナダカナガハマアタラシイ in 長濱ええもんショップセイキン」	・ Match Leather Works ・ 紡ぎ-kannongirl ・ ふるさと夢公社きのもと ・ 合同会社 TUNAGU ・ 長谷健次 ・ 嶋崎善弘 ・ 百匠屋	長濱ええもんショップセイキン
中小企業基盤整備機構 「創業支援事業者補助金」			
2018年 12月11日	第二創業・新事業アタックセミナー 2018年度第1回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 「水素がもたらす可能性とその展望-様々な分野で応用されている水素の本質を捉える-」 「生理学的意義から見るインターバル速歩とは-最新運動パフォーマンスとビジネスの可能性-」	太田 成男 氏 (日本医科大学 名誉教授/順天堂大学 客員教授) 河端 隆志 氏 (関西大学人間健康学部 人間健康研究科 教授)	長浜市役所
長浜市委託事業 「新産業創出地域連携事業」 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			

2018年 12月21日			
中小企業基盤整備 機構 「創業支援事業者 補助金」	地域共創プログラム 成果報告会	受講生成果発表 意見交換会	立命館大学
2018年 12月25日			
中小企業基盤整備 機構 「創業支援事業者 補助金」	地域資源を使って稼ぐを考える ワークショップ	加藤 喜代重 (一般社団法人バイオビジネス 創出研究会 地域事業化プロデ ューサー)	長浜バイオイン キュベーション センター
2019年 2月28日	2018年度第2回 滋賀バイオプロジェクト創出サロ ン		
滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン	「運動との組み合わせにより筋肥 大を引き起こすサプリメントの検 討」	藤田 聡 氏 (立命館大学スポーツ健康科学 部スポーツ健康科学科 教授)	長浜バイオ大学
2019年 3月15日	2018年度第3回 滋賀バイオプロジェクト創出サロ ン		
滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン	「日本式健康長寿を考える ー運 動・栄養処方の観点からー」	橋本 健志 氏 (立命館大学スポーツ健康科学 部スポーツ健康科学科 教授)	長浜バイオ大学
2019年 3月27日			
長浜市委託事業 「新産業創出地域連 携事業(研究開発支援 ・販路開拓支援)」	長浜アカデミックサポートチーム (NAST) 運営会議	運営委員について NAST 部会報告 今後の活動について	長浜バイオ大学
2019年 3月29日	第44回アグリビジネス-カフェ 「地域おこしは農業から-農業が 人を動かす-」		
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業」	第1部 講演会 「何もない場所であったふるさと への危機感から、トラ男・シェア ビレッジ そして…3KM2のし あわせつくり」 第2部 意見交換会	村田 昌大 氏 (シェアビレッジ 村長/トラ 男米プロデューサー) 吉田 道明 氏 (吉田農園株式会社 代表取締役) 清水 陽介 氏 (エコワークス 代表)	長浜バイオ大学

2. その他

		2018年5月9日 2018年7月11日 2018年9月12日 2018年11月14日 2019年1月23日 2019年3月13日	北ビワコホテル グラツィエ
300年経営塾	300年経営塾		
		2018年5月17日 2018年7月24日 2018年9月25日 2018年12月22日 2019年2月19日	長浜バイオ大学
デジタルイノベーション研究会	デジタルイノベーション研究会		
		2018年9月11日	コラボしが
滋賀IMネットワーク	滋賀IMネットワーク会議		
	長浜サイエンスパーク運営協議会 ・長浜バイオ大学 ・星野科学(株) ・イオンディライトアカデミー(株) ・マルホ(株) ・山岡ヤマゼン(株) ・サイアヤファーマ(株) ・マリンフード(株) ・長浜バイオインキュベーションセンター	2018年7月5日 2018年9月26日 2018年12月18日	長浜バイオ大学
長浜サイエンスパーク運営協議会			



一般社団法人バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8
(長浜バイオインキュベーションセンター内)
電話 0749-65-8808 FAX 0749-65-8858
URL : <http://biobiz.jp/>
E-mail : info@biobiz.jp

一般社団法人バイオビジネス創出研究会
2019年度事業報告

一般社団法人バイオビジネス創出研究会

滋賀県長浜市田村町 1281-8
長浜バイオインキュベーションセンター
TEL：0749-65-8808

2019年度 ABBC 経営・運営概況報告

指定管理事業は、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）の指定管理者としての3期目（28年度から5年間）の4年度、通算14年目となり、入居料・指定管理料を主たる収入源として、長浜市と締結したセンターの管理に関する協定書に基づいて、入居企業の支援を柱とした管理運営にかかる多くの事業業務は箕浦インキュベーションマネージャー（IM）を中心に遂行している。

会費事業は、会費を主たる収入源として運営しており、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）と連携して、バイオビジネスにかかる情報提供、セミナー開催・マッチング事業への参加呼びかけのみならず会員個別の創業・事業化の相談・支援にも応じている。会員企業のために300年経営塾やデジタルイノベーション研究会の事務局も受け持っている。これらの事業業務は箕浦IMが中心に担当している。

創業支援事業は、バイオビジネスだけでなくソーシャル、コミュニティビジネスを含む創業支援に関して、2019年度も長浜市より新産業創出地域連携事業が委託され、併せて国の創業支援等事業者補助金が採択されたので、長浜市の政策（産業振興ビジョン・創業支援事業計画）具現化のために創業支援事業者として、商工会議所・商工会と連携しつつ各種事業を加藤地域事業化プロデューサーが中心に行った。これらの起業家育成のための事業、ノウハウは2019年12月にオープンされた長浜ビジネスサポートセンターの核機能に位置づけられている。更なるビジネスサポートセンターの機能構築のため、長浜ビジネスサポート協議会との協働を推し進めている。

2019年の小谷城スマートインターチェンジ（SIC）関連事業は、「6次産業化人材育成・ブランド化推進事業支援業務」を長浜市から委託を受け、人材育成、高付加価値農産物の実証栽培、地域伝承野菜のブランド化推進、ビジネスマッチングなどの業務を加藤地域事業化プロデューサー、箕浦IMを中心に行った。

その他の受託事業として、長浜アカデミックサポートチーム（NAST）事業、環境メッセへの出展事業及び滋賀県関連のSBOからのSBOサロン事業は、2019年度も継続して委託され、これらは箕浦IMが中心に担当した。

会員事業報告

長浜バイオ大学の誘致を契機に地域企業が核となって設立された当会は「滋賀の地に産官学連携によるバイオクラスターを形成」というビジョンを掲げた。長浜サイエンスパークには、長浜バイオ大学、長浜バイオインキュベーションセンター（NBIC）がコア施設として立地され、バイオ関連 6 社の企業も進出している。当会が平成 18 年度より長浜市の指定管理者として運営する NBIC も延べ 40 社の事業支援をおこなってきており、長浜の地に産官学連携によるバイオクラスターが小さいながらも形成され、ビジョンの具現化が図れてきた。

2020 年 3 月末現在の会員数は、企業 17 社、個人会員 9 名、その他 54 社名である。2019 年度も総会で承認された事業計画に基づき会員事業として情報提供事業、研修会・講習会の開催事業、創業・事業化支援事業、マッチング機会創出事業等幅広く行った。下期には、専門家を召集しての企業個別相談会の実施や、最新情報やトレンドや技術を紹介するセミナーなどを実施した。

また、シェアオフィス（openjoynt）をインキュベーションセンター内に設けており、IM・地域事業化プロデューサー両名の支援を柱に展開しており、会員にも利用を呼びかけている。

会員に対しては主催、共催事業、クラスターネットワーク事業、滋賀バイオ産業推進機構（SBO）事業、IM ネットワーク事業の案内や情報を提供している。企業会員は本年度も SBO 会員に登録されており、SBO から情報提供がなされている。

企業会員、個人会員への事業支援・相談窓口としては IM および地域事業化プロデューサーが担当している。

また、地域において、第 2 創業に挑戦する企業を育てるために 300 年経営塾が代表・顧問理事の主宰で 2 ヶ月に一度開催されており、NBIC の PR を兼ね、2019 年度も入会し事務局を受け持っている。さらに、藤田義嗣副代表理事が会長を務められ、若林浩文理事が副会長を務められている『デジタルイノベーション研究会』の事務局も受け持たせていただき、AI やビッグデータ、IoT といった今後のキーテクノロジーとなるテーマを取り上げ、セミナーや勉強会を開催している。

バイオビジネス創出研究会 2019年度 会員数推移

種別	期首	増	減	3月31日現在
企業	20	0	3	17
個人	11	0	2	9
アカデミック	27	0	1	26
学生	0	0	0	0
賛助	19	0	1	18
BI特別	12	0	2	10
合計	89	0	9	80

指定管理業務報告

◆2019 年度入居状況

2019 年の度入居状況は 4 月当初は 17 室中 15 室入居（1 室はシェアオフィス）からスタートした。9 月に株式会社膠原病研究所が移転され、10 月末にはツジコー株式会社が卒業された。2019 年度の採算分岐点は 14 室とみていたが、通年で 13.6 室と採算分岐点を若干下回る形で推移。シェアオフィスについては、3 月末時点で 4 名の利用状況となっている。研究室は 4 室の空き状況であり、次の新たな入居勧誘を積極的に行っている。

◆センター運営事業

指定管理者としてセンター運営事業の目的は、入居企業や地域企業に対するバイオ関連分野を主とした創業・事業化支援による地域産業の活性化と雇用の創出にあり、以下の事業を行っている。

センター運営事業の柱である入居企業、相談に来られる地域企業への支援は IM と地域事業化プロデューサーが担当している。入居企業の課題は IM が把握しており要望に応じて対処している。地域企業に対する第 2 創業、新事業化支援については、企業からの相談の他に、先進事例のセミナー開催や、勉強会の開催等を行いながらアプローチをしてきた。

シェアオフィス（openjoynt）については、メインステージ（次期入居企業候補）及び市内に新たな企業を輩出することを目指し、空き室を利用し、2019 年度も引き続き設置した。

◆センター管理業務

長浜市と締結した協定書の仕様書に準拠して施設の維持管理業務や入居料の集金などの経理業務を日常行っている。加えて入居者懇談会の開催、長浜サイエンスパーク（長浜バイオ大学、進出企業 6 社、ABBC）運営協議会事務局などの業務に箕浦 IM（OM 兼務）、2 名の職員（OM 補佐）が対応している。

◆センター運営体制

代表理事、顧問理事、専務理事（事務局長 兼 統括マネージャー）、相談役、IM(OM 兼務)および地域事業化プロデューサー、OM 補佐 2 名で隔週定例経営会議を開催。これを受けて専務理事の下、具体事業、具体業務を進める体制を取っており、事務局の内部協議を隔週で行っている。

長浜市とは専務理事、IM、地域事業化プロデューサーが出席して報告会議を必要に応じて開催し、IM、プロデューサーの活動報告を行い、運営について指導・助言を受けている。

長浜バイオインキュベーションセンター入居企業一覧

2020年3月31日 現在

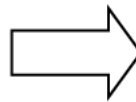
部屋番号	入居者名	代表者	事業内容
1	株式会社フィジカル	代表取締役	健康、美容商品の企画開発
2	http://www.biwako.ne.jp/~physical	永尾 司	顔ダニ製品の新規開発、販売
3			
4	株式会社プロクルー	代表取締役	1次産業向けIoTやドローンを活用した生産管理システムの開発などIoTやAIを取り入れた新たなビジネスモデルの創出
5	http://e-ohmi.net/	松本 茂之	
6	株式会社ワンセル	代表取締役	組織再生と体質改善を促す機能性分子を含む商品群の開発・製造・販売
	http://www.onecell.co.jp	福嶋 久	
7	長浜バイオ大学	理事長	長浜バイオ大学研究者による各種共同研究、受託研究、7-3号室はゲノム編集研究所の拠点としても利用。
	http://www.nagahama-i-bio.ac.jp	若林 浩文	
8	株式会社フロンティアファーマ	代表取締役	分子標的抗がん剤の創薬、創薬・診断薬の新規基盤技術の開発
	http://frontierpharma.jp	岡 徹夫	
9	シェアオフィス openjoynt		創業希望者、新規事業化支援希望者、第2創業希望者のビジネスインキュベーション室として利用。また、ソーシャルビジネス、コミュニティビジネス支援希望者も含む。
10	株式会社バイオセラピーメディカル	代表取締役社長	難治性創傷治療用ウジ事業及び有効成分の研究事業
	http://www.btmcl.com	高瀬 仁志	
11			
12	ジーワン株式会社	代表取締役社長	リップルシステム通信技術を用いた心不全及び認知症患者等の健康管理用ウェアラブル機器の開発等
	http://www.g-1.ne.jp	森 啓悟	
13			
14	株式会社山正	代表取締役	艾製造に伴うヨモギ残渣を活用した健康食品関連開発及び「伊吹艾」のブランド化。独自ヨモギ栽培技術の確立等。
	http://www.moxa.net/	押谷 小助	
15	ジーズアップ株式会社	代表取締役	染毛剤、化粧品の開発
	http://gs-up.co.jp/	三宅 均	
16			
17	株式会社宝樹	代表取締役	国際基準適合商品である水素水生成装置の開発と販売
	https://www.houjyu-world.com/	伊東 直隆	

研究室数の総数 17室

入居者数 9社、長浜バイオ大学、事業支援室（13室）

●2019年4月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	ツジコー株式会社
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	株式会社膠原病研究所
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	株式会社膠原病研究所
17	株式会社宝樹



●2020年3月の入居者一覧

部屋番号	企業名
1	株式会社フィジカル
2	
3	
4	株式会社プロクルー
5	
6	株式会社ワンセル
7	長浜バイオ大学 (7-3 ゲノム編集研究所)
8	株式会社フロンティアファーマ
9	シェアオフィス
10	株式会社バイオセラピーメディカル
11	
12	ジーワン株式会社
13	
14	株式会社山正
15	ジーズアップ株式会社
16	
17	株式会社宝樹

●2019年4月以降 卒業企業

	企業名	卒業日
1	株式会社膠原病研究所 13号室 16号室	2019/9/30
2	ツジコー株式会社 3号室	2019/10/31

長浜バイオインキュベーションセンター シェアオフィス利用者一覧

2019年3月31日現在

部屋番号	利用者名	事業内容
1	合同会社バスクロンジェニックス	生体サンプルからの核酸抽出と遺伝子解析の受託およびその情報を基にした治療薬・診断薬の開発
2	村上デザイン事務所	WEBサイトの制作・運営
3		
4		
5	日本コンサルティング総合研究所 株式会社	ファイナンシャルプランナー事業
6	一般社団法人スイビー	琵琶湖における水上競技イベントの企画運営

創業支援関連事業報告

長浜市創業支援事業計画に基づいて、長浜ビジネスサポート協議会と協働で、地域の起業家予備軍に対して、起業意識の醸成からテストマーケティング、成長支援までの一貫した支援を実施した。

1. 創業・起業・新事業者発掘事業

(1) 創業塾

2014年度からスタートした創業塾は、2019年度で6年目を迎えた。創業に必要な知識手法の習得（経営・財務・人材育成・販路開拓）の機会を実践的なワークショップ形式を中心に提供した。

【第10期】

- 実施期間：2019年9月18日～12月4日
- 場所：長浜市役所／長浜ビジネスサポートセンター
- 受講者：48名
- 修了者：35名



(2) クラウドファンディング実践セミナー&ワークショップ

創業や新事業への後押しとなる創業塾のオプション講座として、新しい資金調達手段として活用が増えつつあるクラウドファンディングについて、基本からプロジェクト立ち上げまで学べるワークショップを開催。プロジェクトの立ち上げ後も継続サポートを実施した。

- 実施日：第1回 2019年11月18日 19:00～21:00
第2回 2019年12月9日 19:00～21:00
- 場所：第1回 長浜バイオインキュベーションセンター
第2回 長浜ビジネスサポートセンター
- 参加者：10名



(3) 創業支援情報提供ウェブサイトの運営

長浜市で新しいことにチャレンジする人を紹介するサイト「ナダカナガハマアタラシイ」を運営した。

ナダカナガハマアタラシイ

ナガハマでチャレンジする人たち

- 2020.02.04 創業・店舗紹介
「釣り」をきっかけに、人とモノが出会う場所
LUCK FISHING & LIFESTYLE 横田 真志さん
- 2019.11.11 創業・店舗紹介
琵琶湖に浮かぶ神秘的島「竹生島」でカフェを営む
cafe & shop こや 尾形 泰さん
- 2019.08.19 創業・店舗紹介
農家が作る美味しいお弁当。世代をつなぐ場所を作りたい
あぐり飯堂おもん、よばれやんね、稲田 光子さん

2. 起業・新事業個別支援

(1) 専門家による個別支援

地域事業化プロデューサーを配置しハンズオン支援を提供した。昨年度に引き続き支援内容の質量拡大に対応すべく地域事業化プロデューサーと連携しハンズオン支援を行う地域事業化アソシエイトを配置し対応した。

実施期間： 2019年4月～2020年3月

対応件数： 363件 支援対象者： 62名

(2) テストマーケティング

支援対象者の商品やサービスがより速く顧客対象からの評価を得られるように、人の動きが活発なポイントでアンテナショップやブースを設けた。

2019年度は「長濱ええもんショップセイキン」と、敦賀市のさかな街にある「茶夢里」にアンテナショップブースを設置した。

【長濱ええもんショップセイキン】

実施日： 2019年8月1日～12月31日

出店者： 5者・社



【茶夢里】

実施日： 2019年10月1日～12月31日

出店者： 3者・社



(3) コワーキングスペース

長浜で起業や新事業に挑戦する人が使用できる長浜ビジネスサポートセンター内のコワーキングスペース「長浜ビジネスフューチャールーム（略称NBFR（ナビフル）」の運営支援。

イベントスペースとしても活用され認知度が上がり、利用者が増えつつある。



3. 起業家教育事業

(1) 若者向け起業家教育プログラム

学生を中心とした若者（創業無関心者）を対象として、地域の起業や事業活動を肌で感じることのできる「地域共創プログラム」を実施した。

実施期間：2019年11月～12月

参加者：6名

【実習先】

- ・一般社団法人あいたくて長浜
- ・大塚産業クリエイツ株式会社
- ・LOCO
- ・合同会社 TUNAGU



開講式



実習様子

(2) 地域資源活用型起業家教育プログラム

新たな支援者の獲得、また支援者同士の交流や組織化を促すことを目的とし、地域資源を活用して起業を考える人を対象とした連続講座を開催。

企画名：地域資源で小さな仕事を考える

実施日：2019年11月17日、11月24日、12月15日

場所：長浜市内各所

参加者：17名

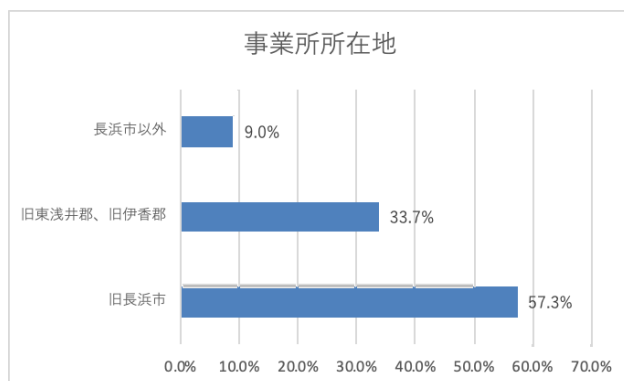
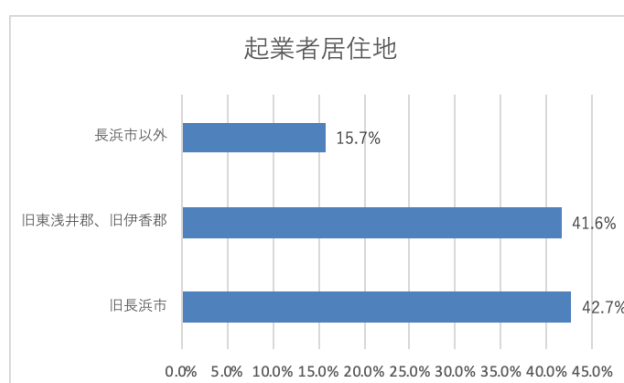
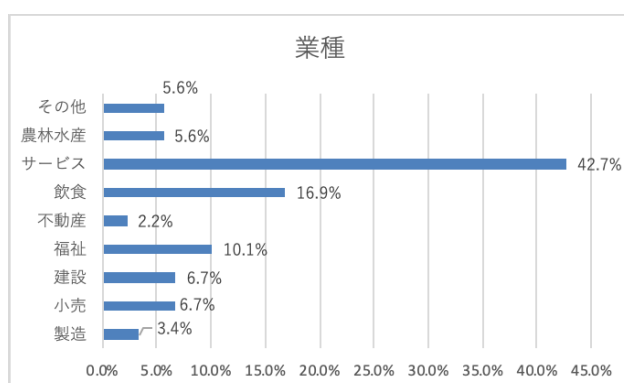
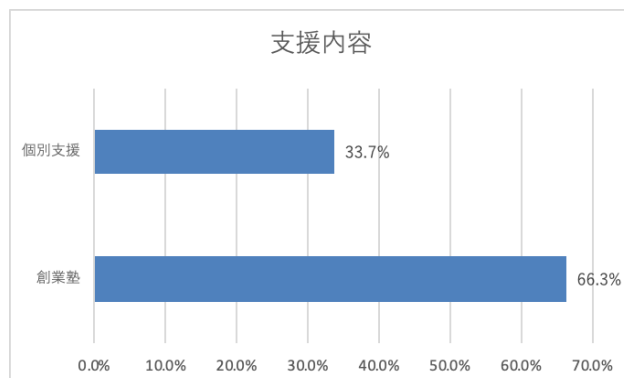
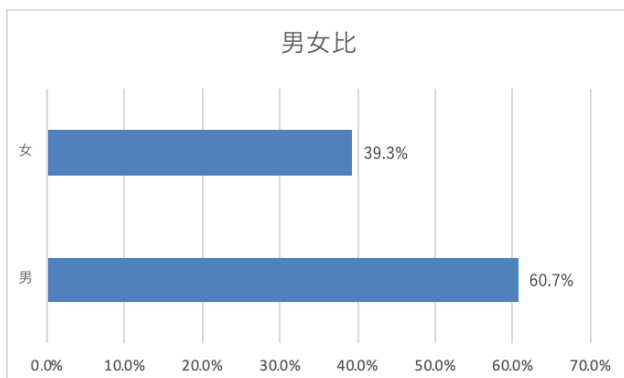


5. まとめ

(1) 起業件数

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	合計
起業件数		11	13	16	15	14	20	89
内訳	創業塾	8	9	11	12	7	12	59
	個別支援	3	4	5	3	7	8	30

(2) 起業者動向



(3) 今後の取り組み

2019年12月1日に竣工した、長浜市内産業支援のワンストップ窓口となる「長浜ビジネスサポートセンター」により、これまで創業支援等事業により培われてきた支援機関同士の有機的連携をさらに底上げできる土台が整ってきた。

今後は、この体制をさらに発展させ、起業家精神あふれる創業者・支援対象者とともに既存の地域企業とも連携促進を促し、創業新事業創出の加速・事業継承問題への対応・市内人口の社会的要因による減少対策といったより広い視野での地域問題解決に貢献できるように体制強化を推進していく。

6次産業化人材育成・ブランド化推進事業支援業務報告

1. 概要

小谷城スマートインターチェンジ周辺において、6次産業化を支える人材育成や地域伝承野菜のブランド化を推進する事業を行うとともに、収益性のある農業経営のモデルづくりなど新たなアグリビジネスを推進する事業の実証及び調査研究を行う。

また、小谷城スマートインターチェンジ周辺の6次産業化拠点整備に向け、市内農家や企業の情報収集とビジネスマッチングの実施、並びに周辺地域への理解促進やネットワーク構築を行う。

2. 実施内容

小谷城スマートインターチェンジ栽培実験農場を中心として各事業を行った。



(1) 人材育成事業

新規農業者を創出し、育成するため、ビニールハウスを使った就農実習を行う「ながはまスマート園芸チャレンジ事業」を実施した。

当事業の実習生2名は、北びわこ農業協同組合や滋賀県、JA全農など関係機関の支援を受け、2018年度に引き続き、少量培土栽培装置「ういず One」を活用したプチトマトの栽培と、2019年度はメロンの栽培も行い、「ういず One」を活用したメロン栽培に滋賀県初で成功した。

【実習場所】

栽培実験農場内実習生用ビニールハウス（約 140 m² × 2 棟）

【栽培品目・スケジュール】

作目	管理者	2019年										2020年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
メロン ミニトマト	実習生 2名	● 4/10 定植		● 7/10~収穫			● 8/6 定植		● 9/20~収穫			● 定植 ■ 収穫		

【結果】

メロン：JA北びわこの農産物直売所に約 260 個出荷し、内 198 個を販売
販売期間中に廃棄したメロンが約 10 個、売れ残り破棄が約 50 個
ミニトマト：市場に 726kg 出荷、JA北びわこの農産物直売所で 77kg（150g × 513 袋）販売した。（合計 803kg を販売）

【今後の取組】

- ▶ 実習経験（知識、栽培技術、栽培データ）を活かし、栽培技術を向上させ、品質の向上と安定化、収量拡大と収益増を目指す。
- ▶ メロンの収量拡大については、適期防除による病害対策、ドライミストを活用した高湿度確保、1槽1株栽培による糖度向上とサイズアップに取り組む。
- ▶ メロンの収益増については、ふるさと納税の活用や6次産業化商品（加工 OEM）の開発、実習生自らの販路開拓（道の駅、直売所等）によって、廃棄ロス低減に取り組む。
- ▶ ミニトマトの収量拡大については、定植時期を早めることで、1株当たりの出荷量を増やす。



実習の様子

(2) 地域伝承野菜のブランド化推進

長浜バイオ大学、長浜農業高等学校、滋賀県調理短期大学校、長浜アカデミックサポートチーム等と連携し、地域伝承野菜（尾上菜等）の優良系統の採取ならびに栽培マニュアルの作成、素材を活かした新商品の開発や食文化・調理法の継承によって、ブランド化を推進した。

① 地域伝承野菜（尾上菜等）の優良系統の播種・栽培・収穫および採種】

長浜バイオ大学および小谷城スマートインターチェンジ栽培実験農場内ビニールハウスにて、トライコームを発現しない優良系統6系統を播種、栽培、収穫および採種を実施した。長浜バイオ大学では、優良系統の確立、栽培実験農場では実習や採種をメインに実施した。

尾上菜と伊吹大根

- 尾上菜 *Brassica rapa*
 - 長浜市湖北町の尾上地区で栽培されてきた葉物野菜
 - 漬物や煮物として自家消費されている。
- 伊吹大根 *Raphanus sativus*
 - 伊吹山の麓で栽培されてきた大根
 - 辛味が強く、そばの薬味として食べられている。

目的：形質が均一な優良系統を安定供給

尾上菜、伊吹大根の人工栽培

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露地	→			花成	→		採種			播種	→	

↓

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人工気象器	播種	→		低温処理	→		花成	→		採種		

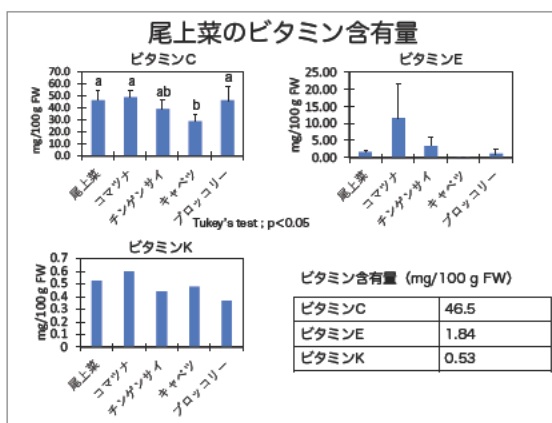
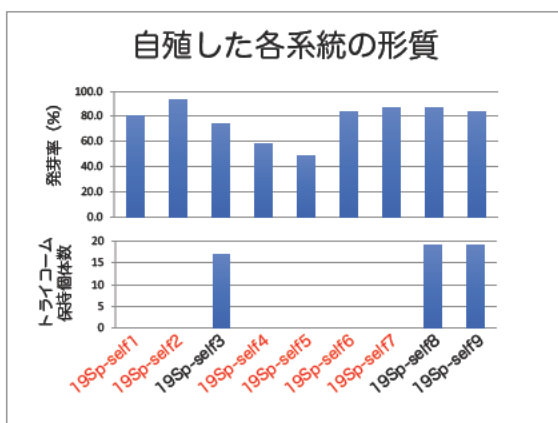
アブラナ科植物の自家不和合性

正常な雌雄両性花において、自己の花粉では受精が成立せず、種子の産生に他個体からの花粉が必要となる性質

尾上菜と伊吹大根の全ゲノム解析

	遺伝子数 (個)	ゲノムサイズ (MB)	平均CDS長 (bp)
尾上菜	68,408	423	1,009
伊吹大根	64,877	408	1,024

- 次世代シーケンスでゲノム配列を解析して遺伝子を予測した。
- 遺伝子数は、ミトコンドリアと葉緑体の情報も含む。
- 尾上菜と伊吹大根の全ゲノムの解析は世界初



【結 果】

- 尾上菜、伊吹大根は共に 9 月頃に播種を行い、越冬し春に種が取れる年 1 回の栽培サイクルであるが、長浜バイオ大学の人工気象機、春化処理を行うことで、年 2 回のサイクルで栽培が可能となった。
- 尾上菜と伊吹大根の全ゲノム解析は世界で初であり、F1 品種確立へ大きく前進した。

② 栽培マニュアルの作成

滋賀県立長浜農業高等学校にて、長浜バイオ大学から作出された優良系統 6 系統を播種。栽培を行いながら、各種データを採取した。また、尾上地区農家との情報交換や、長浜バイオ大学との高大連携を実施し、学生の人材育成も実施した。

【実 習】

- ・ 2019 年 4 月 25 日

長浜バイオ大学による自家不和合性の打開策（蕾受粉）の体験と実習
栽培実験農場の見学、農場で実施している各事業の説明
尾上菜生産者等との情報交換

- ・ 2019 年 7 月 3 日

蕾受粉の第 2 回目の実習

- ・ 2019 年 9 月 3 日

長浜農業高等学校と長浜バイオ大学との高大連携講座を実施
（尾上菜の特性やこれまでの研究成果の発表）

- ・ 2019 年 9 月 17 日

長浜農業高等学校にて、長浜バイオ大学で作出された 6 系統の尾上菜の種の播種を実施
尾上菜生産者による地域での尾上菜の栽培方法の指導と実習

- ・ 2019 年 10 月 1 日

長浜農業高等学校にて、尾上菜の定植作業を実施



実習の様子

【結 果】

長浜バイオ大学の指導の基に長浜農業高等学校の生徒が行った実習結果をデータ化（蕾受粉による自家受粉、他家受粉の結果を種の収量や大きさを基にデータ化）

③ 素材を活かした新商品開発、食文化・調理法の継承

【実施内容】

- ・長浜農業高等学校にて、湖北食事文化研究会 代表 肥田文子氏をお招きし、尾上菜を使った料理指導を実施した。
- ・滋賀県調理短期大学校において、19 品目の料理レシピを開発した。
- ・滋賀県調理短期大学校で開催された料理展示会で、学生に尾上菜を使った料理を各自 1 品入れてもらい展示した。



調理指導と料理展示会の様子

④ 関係者機関とのネットワーク構築

長浜アカデミックサポートチーム (NAST)、尾上菜生産者等との意見交換会の実施。また、その他関係団体等との意見交換会を随時実施した。

【実施内容】

- ・長浜アカデミックサポートチーム部会報告会
開催日： 2019 年 6 月 28 日
内 容： 尾上菜について、これまでの研究成果報告、尾上菜ブランド化に向けた協議を行った。
- ・長浜アカデミックサポートチーム運営会議
開催日： 2020 年 3 月 4 日
内 容： NAST 運営会議の中で、尾上菜のブランド化を検討する部会についての報告を行い、NAST 運営委員からアドバイスや意見をいただいた。



⑤ 普及啓発イベントの開催

尾上菜の普及啓発を行うため、各種イベントでの展示やセミナーを実施した。

【実施内容】

- ・小谷城スマートIC周辺で取り組む6次産業化セミナーの開催

開催日：2019年7月7日 13:30~15:00

会場：長浜バイオ大学

参加者：140名

内容：長浜バイオ大学学長による基調講演のほか、長浜バイオ大学や長浜農業高等学校等が連携し取り組んでいる地域伝承野菜「尾上菜」のブランド化事業や、栽培実験農場における人材育成事業、収益性のある農産物の実証栽培など6次産業化に向けた取り組みを発表した。

- ・長浜農業高等学校 秋の農産物販売会でのパネル展示等

開催日：2019年11月16日

会場：長浜農業高等学校

内容：研究成果のパネル展示と尾上菜の展示

- ・滋賀県調理短期大学校 料理展示会でのパネル展示等

開催日：2019年11月20日

会場：滋賀県調理短期大学校

内容：尾上菜の実物展示と開発された尾上菜を使った料理レシピパネルの展示



⑥ その他

異常気象による気温変化に起因する害虫被害への対処や、優良系統を作出するために安定的に栽培を行う必要があるため、天候に左右されることなく効率的に実験を継続することができる植物工場システムを導入した。

(3) 高付加価値農産物の6次産業化

健康に寄与し需要がある高付加価値農産物の「あおばな」を長浜市内で栽培した。また、技術の向上と機械化一貫体系の確立に向けた調査研究等を地域農業者8者の協力を得て70aの圃場で行い、栽培マニュアルの改定を行った。

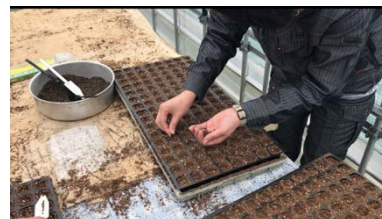
① あおばなの実証栽培

【育苗】

播種：3月末～4月上旬

歩留：60%（播種10穴に対して定植苗が6株）

引渡：4月中旬～5月中旬



【圃場整備】

あおばな及び後作作物の圃場排水対策として地下水位制御システム「FOEAS（フォアス）」を導入した。また、定植のための耕運・畝立はヤンマーアグリジャパンの協力を得て、GPS制御によるトラクター自動運転テストを実施した。



【定植生育管理】

4月末～5月下旬に各農業者において定植を行い、収穫までの生育管理（主に畝間草刈り）を実施。定植時の畝立てマルチ被覆を不備なく行うことで工数はほぼかからない状態であった。



【収 穫】

7月中旬～8月中旬にかけて各農業者の生育状況にあわせ収穫。



【結 果】

施肥基準の統一など栽培方法の統一に関して、マニュアルを活用して実施を徹底したことで、農業者全体で約 1,200kg の収穫量となり、反収は 2018 年度と比較して 123% となった。

(4) 水田野菜のモデル農場の整備及び情報発信

実験圃場の農場長である有限会社湖国農産と JA 北びわこの連携により、水田野菜モデル農場の整備等を行った。

作目	管理者	2019年									2020年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
キャベツ しょうが 玉ねぎ	JA 北びわこ		5/9 定植		しょうが		8/19 定植	キャベツ	10/29 収穫		11/16 定植 (玉ねぎ) 11/25 定植 (キャベツ)									
												11/28 収穫	玉ねぎ (6月中旬収穫)	キャベツ (5月収穫)						



栽培収穫作業の様子

(5) ビジネスマッチング

小谷城スマートインターチェンジ周辺の6次産業化拠点整備に向けて、長浜市とともに市内農家や企業の情報収集とビジネスマッチングの実施、周辺地域への理解促進やネットワーク構築を行った。

① 市内農家や企業の情報収集・ビジネスマッチング・周辺地域への理解促進・ネットワーク構築

- ・小谷城スマートインターチェンジ周辺6次産業化拠点整備準備委員会
2019年5月29日、7月16日、10月18日、12月13日の4回
- ・農業者会議
2019年6月27日
- ・地権者説明会
2019年7月29日、8月28日、11月20日、2020年1月20日、2月13日の5回
- ・事業スケジュール協議
2019年6月5日
- ・視察研修
2019年7月10日 株式会社スマートアグリカルチャー磐田を視察
2019年11月13日 京都グレインシステム株式会社、アクアイグニスを視察



② マッチング促進用パネル製作（5種類）



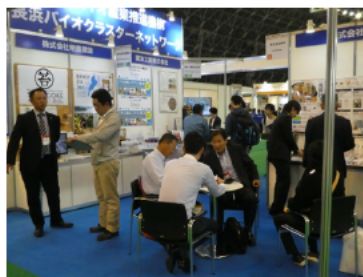
その他事業報告

1. びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブース設置によるビジネスマッチング事業

長浜市より新産業創出地域連携事業（研究開発支援・販路開拓支援）業務委託を受け、びわ湖環境ビジネスメッセ 2019 会場内で特設ブースを設置。2019 年度は滋賀バイオ産業推進機構と協働で開催。8 社 2 支援機関が出展した。

(1) 出展企業一覧

出展企業	出展内容
大塚産業クリエイツ株式会社	リサイクル原料を利用したオリジナル製品
株式会社開伸	V パック（梱包装体）
国友工業株式会社	木質バイオマス燃料のペレットストーブ バイオ消臭剤
ツジコー株式会社	健康茶、健康食品・化粧品原料の受託事業
株式会社プロクルー	ドローンスクール、機体の展示・活動動画放映 空撮・高所点検サービス
株式会社宝樹	「愛の水素水」JOY、SUPER JOY の展示 認知症対策の新しいシステム（長浜モデル）の説明・体験
株式会社明豊建設	和のグリーンインテリア「SUNAGOKE Sheet」 琵琶湖の水草で作った微生物有機肥料「湖の恵」
株式会社山正	長浜バイオ大学との共同研究（艾製造時に出る乾燥ヨモギの残渣分析）にて認められた抗インフルエンザウィルス作用を利用した商品
韓国技術ベンチャー財団	財団の紹介及び韓国企業の製品の紹介
長浜バイオインキュベーションセンター ／長浜バイオクラスターネットワーク	長浜バイオインキュベーションセンターの紹介 びわ湖長濱ブループロジェクトの紹介



(2) 結果

メッセ全体来場者数

10月16日（水）	7,280名	
10月17日（木）	9,290名	
10月18日（金）	9,040名	総合計 25,610名

来場者数・商談数一覧

出展企業	来場者数	商談数	可能性大	商談成立
大塚産業クリエイツ株式会社	163	16	2	0
株式会社開伸	125	33	6	0
国友工業株式会社	86	5	0	1
ツジコー株式会社	70	1	0	0
株式会社プロクルー	220	90	20	1
株式会社宝樹	75	26	10	1
株式会社明豊建設	101	17	5	0
株式会社山正	60	4	2	0
韓国技術ベンチャー財団	24	6	0	0
長浜バイオインキュベーションセンター／長浜バイオクラスターネットワーク	36	0	0	0
合計	960	198	45	3

昨年度の実績（9社2支援機関の出展で、来場者数 1,552 人、商談 206 件、可能性大 36 件、商談成立 0 件）

2. 長浜アカデミックサポートチーム（NAST）を活用した産学等連携強化事業

(1) 長浜アカデミックサポートチーム運営委員会の開催

開催日：2020年3月4日（水） 14：30～16：00

会場：長浜バイオ大学 中会議室

- 内容：①NAST 部会活動報告
 ②ピワマスの研究について
 ③地域企業との共同研究について
 ③今後の活動内容及び意見交換

参加者： 

長浜市

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

(2) 長浜アカデミックサポートチーム（NAST）部会の活動

2017年3月に開通した小谷城スマートインターチェンジ（SIC）において、長浜市が進める小谷城 SIC 周辺 6 次産業化拠点構想について検討をすすめる中で、伝統野菜の推進について NAST に協力依頼があった。そこで湖北地域における伝承野菜を発掘しブランド化することにより地域の産業振興、特産品作り、6 次産業化を目指すことを目的とし、NAST 部会を 2017 年に設置した。そして、まずは湖北地域の伝承野菜の中から「尾上菜」と「伊吹大根」のブランディング化を進めている。

2019 年度は、2018 年度に引き続き、長浜バイオ大学が採択された「私立大学研究ブランディング事業」にも位置づけられて研究が進むとともに、長浜市と協働し、関係者との連携促進、試験圃場の整備、普及 PR などのコーディネート支援を実施している。

【NAST 部会 メンバー組織】

長浜バイオ大学／滋賀県立大学／奈良先端科学技術大学院大学／滋賀県立長浜農業高等学校／滋賀県調理短期大学校／一般社団法人ばんば楽楽ファーム／湖北町食事文化研究会／尾上菜生産者（農家）／長浜市／一般社団法人バイオビジネス創出研究会



3. 滋賀バイオプロジェクト創出サロン事業

滋賀バイオ産業推進機構（SBO）および ABBC が協働し、研究開発、産業化に向けた情報交換の場を提供するとともに、プロジェクト構築に向けた取り組みを支援することで、バイオ関連産業の創出・育成を図ることを目的とする。

(1) 運営会議の開催

2019 年度サロン事業の運営方針を決めるため、専門家らの有識者による運営会議を開催した。

日 時：2019 年 11 月 8 日（金）10：00 ～ 11：15

会 場：長浜バイオインキュベーションセンター経営支援室

出席者：



滋賀バイオ産業推進機構（SBO）

一般社団法人バイオビジネス創出研究会（ABBC）

内容まとめ：

2019年度はより実質的に共同研究や開発が生まれるような土壌づくりとして相談会形式でサロンを運営することになった。企業がどのような課題を抱えているのかを吸い上げ、適任者の紹介し、共同研究や新たなプロジェクト創出を目指し取り組んでいく。

(2) 滋賀バイオプロジェクト創出サロンの実施

2019年度 第1回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2019年12月3日（火）10：00～11：30

会場：長浜バイオ大学 中会議室

企業：株式会社山正

内容：ヨモギ栽培における課題と艾精製後の残渣活用について

2019年度 第2回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2020年2月3日（木）14：30～16：00

会場：長浜バイオインキュベーションセンター経営支援室

企業：株式会社山正

内容：第1回サロンで運営委員より紹介のあった企業とのマッチング支援

2019年度 第3回滋賀バイオプロジェクト創出サロン 相談会

開催日時：2020年2月26日（水）14：30～16：00

会場：長浜バイオ大学 中会議室

企業：株式会社ヤマムログループ

内容：木質バイオマス資源地域再生可能エネルギー利用発電所 燃焼灰の有効活用



2019年度事業一覧表

1. 主催・共催・後援事業

2019年 4月17日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・2019年度小谷城 SIC 栽培実験 農場の取り組みについて ・意見交換	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 5月19日	いきいき健康フェスティバル 2019		長浜バイオ大学 NBIC
いきいき健康フェ スティバル			
2019年 5月20日	バイオビジネス創出研究会・長浜み らい産業プラザ合同総会記念講演会 「ゲノム編集技術による生物改変と それによる農水産物の変化」	蔡 晃植 氏 (長浜バイオ大学 学長)	北ビワコホテル グラツィエ
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業」			
2019年 5月29日	小谷城スマート IC 周辺拠点整備準備 委員会	・2019年度事業スケジュール ・2019年度小谷城スマート IC 周辺6次産業化拠点整備事業 について	小谷丁野町自治 会館
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 6月28日	長浜アカデミックサポートチーム 部会	伝承野菜推進部会 活動報告	長浜バイオ大学 大会議室
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 7月7日	小谷城スマート IC 周辺で取り組む 6次産業化セミナー（共催） 基調講演 ・私立大学研究ブランディング事業 を介した地域貢献 事例発表 ・小谷城 SIC 栽培実験農場におけ る6次産業化の取組 ・最先端バイオサイエンスによって解 析された尾上菜と伊吹大根 ・植物に含まれる有用物質の高生産に 向けて ・尾上菜と伊吹大根のブランド化に向 けた栽培技術の確立～1年目の挑 戦～ ・ういず One システムを活用したメ ロン栽培の挑戦と水田の高度利用 化 ・高付加価値農産物「あおばな」の6 次産業化	基調講演 ・蔡 晃植 氏 (長浜バイオ大学 学長) 事例発表 ・尾崎 耕介 氏 (長浜市農林政策課 副参事) ・古川 岳人 氏 (長浜バイオ大学 助教) ・今村 綾 氏 (長浜バイオ大学 講師) ・滋賀県立農業高等学校 農業科食農振興分野3年生 ・伊藤 源嗣 氏 (JA北びわこ営農経済部 課長) ・加藤 喜代重 (バイオビジネス創出研究会 地域事業化プロデューサー)	長浜バイオ大学 大講義室1
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			

2019年 7月10日	小谷城スマートIC周辺拠点整備準備 委員会 視察研修	視察先 株式会社スマートアグリカル チャー磐田	
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 7月16日	NBIC 入居者懇談ランチ会		NBIC
NBIC 入居者懇談会			
2019年 7月16日	小谷城スマートIC周辺拠点整備準備 委員会	視察研修報告	小谷丁野町自治 会館
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 8月1日～12月31日	アンテナショップ 「ナンドカナガハマアタラシイ in 長 濱ええもんショップセイキン」	・ Match Leather Works ・ 紡ぎ-kannongirl ・ ふるさと夢公社きのもと ・ おてまいり屋 ・ 長谷健次	長濱ええもんシ ョップセイキン
創業支援事業者等 補助金			
2019年 8月22日	小谷城スマートIC 栽培実験農場 関係者会議	・ これまでの経過と実績報告 ・ 今後の取り組みについて ・ 意見交換	曳山博物館 会議室
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 9月18日～ 12月4日	実践ながはま・こほく創業塾 第10期	2019年9月18日～12月4日 全12回 開催	長浜市役所
創業支援事業者等 補助金			
2019年 10月1日～12月31日	アンテナショップ 「ナンドカナガハマアタラシイ in 茶 里夢」	・ 合同法人 TUNAGU ・ セイキン商事 ・ アトリエモルフェ	日本海さかな街 茶里夢
創業支援事業者等 補助金			
2019年 10月6日	小谷城戦国祭り	小谷城スマートIC 栽培実験農場 関係者出店	小谷城戦国歴史 資料館
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2019年 10月16日～18日	びわ湖環境ビジネスメッセ特設ブー ス2019 (びわ湖環境ビジネスメッセ会場内 で開催) (長浜バイオクラスターネットワー ク・滋賀バイオ産業推進機構で主 催)	◀出展▶8社2団体 ・ 大塚産業クリエイツ ・ 開伸 ・ 国友工業 ・ ツジコー ・ プロクルー ・ 宝樹 ・ 明豊建設 ・ 山正 ・ 韓国技術ベンチャー財団 ・ 長浜バイオクラスターネットワーク	長浜バイオ大学 ドーム
長浜市委託事業 「新産業創出地域 連携事業(研究開発 支援・販路開拓支援)」			

2019年 10月18日	小谷城スマートIC周辺拠点整備準備委員会	・小谷城 SIC 周辺 6 次産業化拠点整備状況報告 ・視察研修について ・その他	小谷丁野町自治会館
長浜市委託事業 「6次産業化支援事業」			
2019年 11月8日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン運営委員会	・サロン事業について ・これまでのサロン事業 ・2019年度サロン事業開催概要について ・講師候補について ・その他	NBIC 経営支援室
SBO 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			
2019年 11月13日	小谷城スマートIC周辺拠点整備準備委員会	視察先 京都グレインシステム株式会社	
長浜市委託事業 「6次産業化支援事業」			
2019年 11月17日	連続講座 「地域資源を使って小さな仕事を考える」	第1回 「地域資源・小商いについて学ぼう」	Kishida House
創業支援事業者等補助金			
2019年 11月18日	クラウドファンディング 実践セミナー&ワークショップ	植田 淳平 氏 (合同会社 MediArt 代表社員)	NBIC 事業支援室
創業支援事業者等補助金			
2019年 11月24日	連続講座 「地域資源を使って小さな仕事を考える」	第2回 「身近な実践者から学ぶ」	長浜市内各所
創業支援事業者等補助金			
2019年 11月28日	若者向け地域起業家教育 「地域共創プログラム」	開講式 オリエンテーション	長浜ビジネスサポートセンター
創業支援事業者等補助金			
2019年 12月3日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第1回サロン相談会	長浜バイオ大学 中会議室
SBO 滋賀バイオプロジェクト創出サロン			
2019年 12月9日	クラウドファンディング 実践セミナー&ワークショップ	植田 淳平 氏 (合同会社 MediArt 代表社員) 竹内 一平 氏 (株式会社 CAMPFIRE)	長浜ビジネスサポートセンター
創業支援事業者等補助金			
2019年 12月15日	連続講座 「地域資源を使って小さな仕事を考える」	第3回 「小さく始められる自分なりの仕事を考える」	レンタルスペース松橋
創業支援事業者等補助金			

2019年 12月21日	若者向け地域起業家教育 「地域共創プログラム」	成果報告会	長浜ビジネスサ ポートセンター
創業支援事業者等 補助金			
2020年 1月29日	小谷城スマート IC 栽培実験農場 関係者会議	・2019年度事業実績について ・2020年度事業計画案について ・意見交換	長浜ビジネスサ ポートセンター
長浜市委託事業 「6次産業化支援 事業」			
2020年 2月3日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第2回サロン相談会	NBIC 経営支援室
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン			
2020年 2月26日	滋賀バイオプロジェクト創出サロン	第3回サロン相談会	長浜バイオ大学 中会議室
SBO 滋賀バイオプロジ ェクト創出サロン			
2020年 3月4日	長浜アカデミックサポートチーム (NAST) 運営会議	・報告 部会報告 ピワマスの研究について 地域企業との共同研究について ・今後の活動について	長浜バイオ大学 中会議室
長浜市委託事業 「新産業創出地域連携 事業（研究開発支援・ 販路開拓支援）」			
2020年 3月12日	アグリビジネス-カフェ 運営委員会議	アグリビジネス-カフェの今後 の展開について	NBIC 経営支援室
会員事業			

2. その他

	300年経営塾	2019年5月14日 2019年7月9日 2019年9月17日 2019年11月12日 2020年1月21日	北ピワコホテル グラツィエ
300年経営塾			
	デジタルイノベーション研究会	2019年6月14日 2019年6月27日 2019年9月12日 2019年12月13日	長浜バイオ大学
デジタルイノベ ーション研究会			
	滋賀IMネットワーク会議	2019年11月18日	草津 SOHO
滋賀IMネットワ ーク			
	長浜サイエンスパーク運営協議会 ・長浜バイオ大学 ・星野科学(株) ・イオンデイライトアカデミー(株) ・マルホ(株) ・山岡ヤマゼン(株) ・サイアヤファーマ(株) ・マリンフード(株) ・長浜バイオインキュベーションセンター	2019年7月8日 2019年10月3日(除草作業) 2019年12月12日	長浜バイオ大学 長浜ビジネスサ ポートセンター
長浜サイエンスパ ーク運営協議会			



一般社団法人バイオビジネス創出研究会
〒526-0829 滋賀県長浜市田村町1281-8
(長浜バイオインキュベーションセンター内)
電話 0749-65-8808 FAX 0749-65-8858
URL : <http://biobiz.jp/>
E-mail : info@biobiz.jp